黒鉄の宿

性奴隷へと堕つ剣士

R18 成人向け
ADULT ONLY

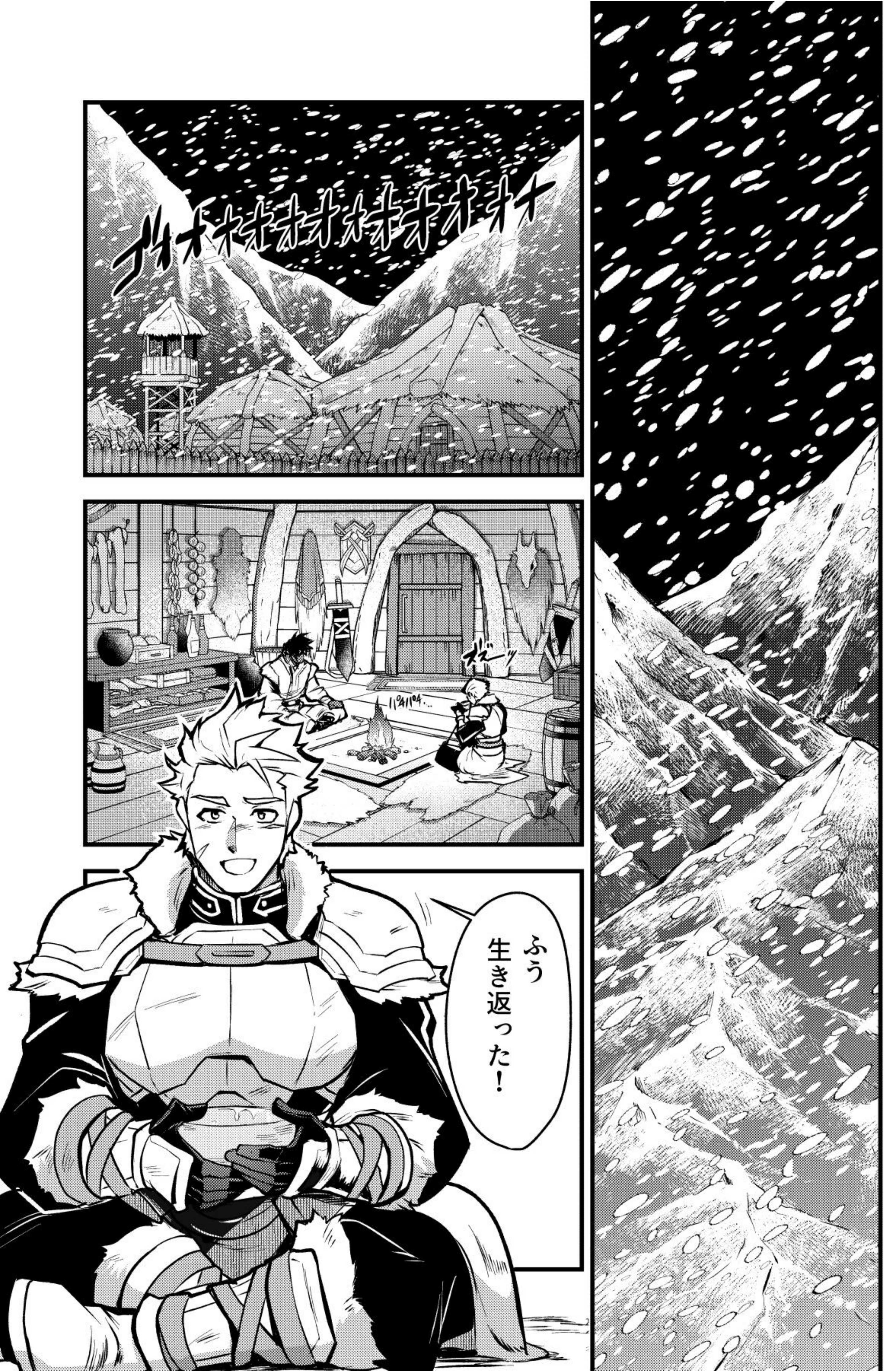
黒鉄の宿

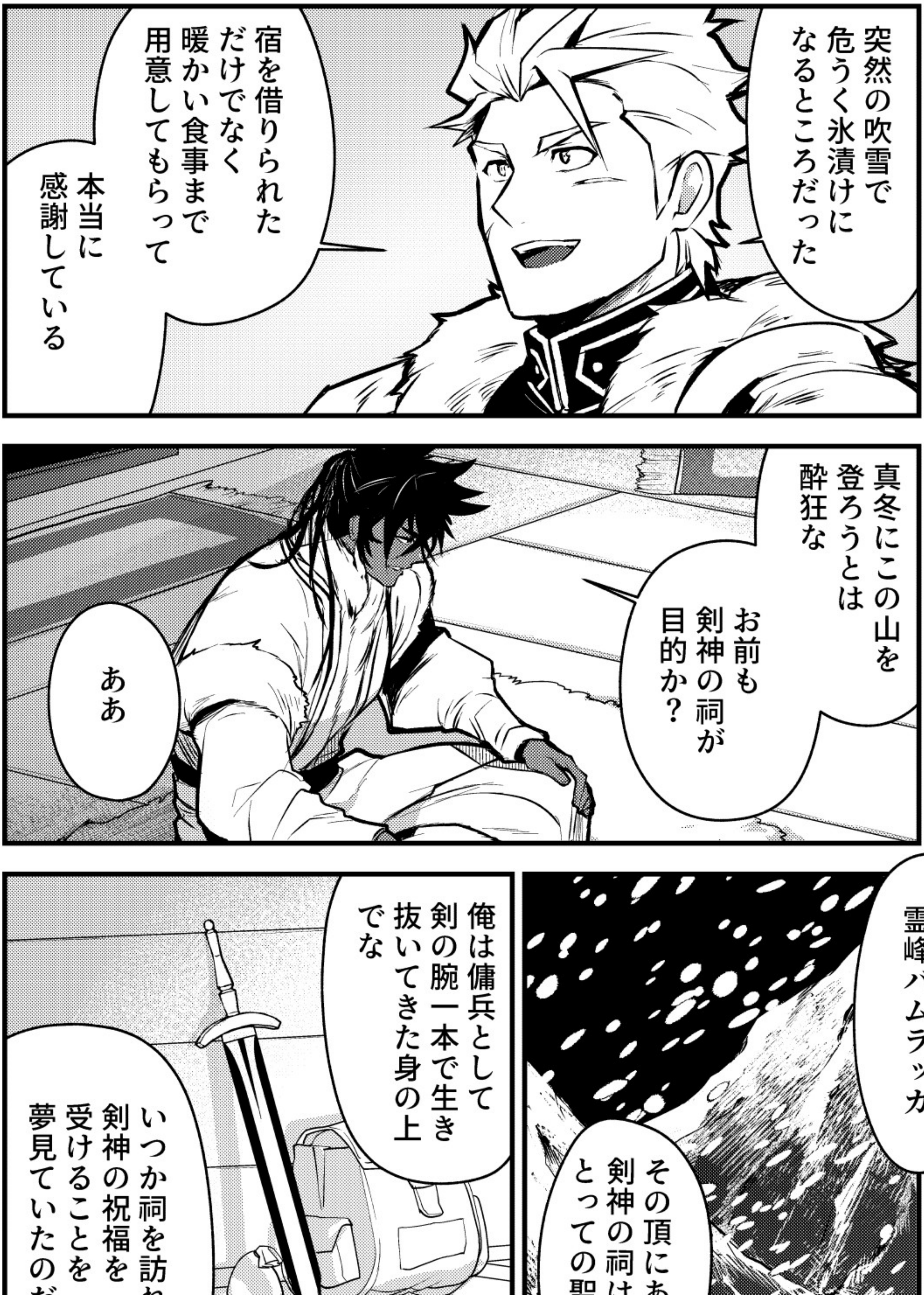
性奴隷へと堕つ剣士

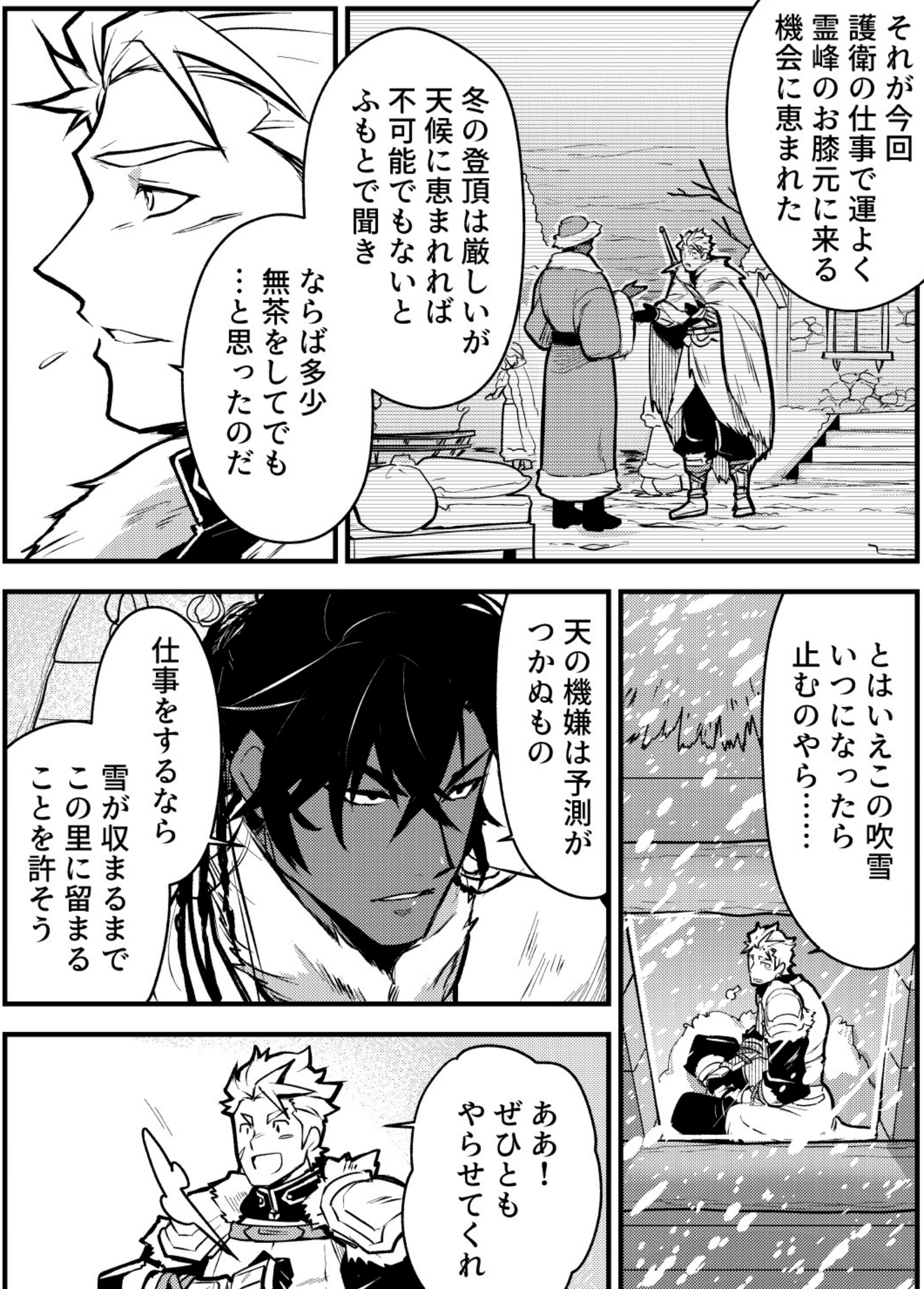
１８歳未満の方の閲覧･購入を禁止します。
無断転写･複写･転用･転載･web上へのアップロードを禁止します。
この作品はフィクションであり実在の個人･団体などとは一切関係がありません

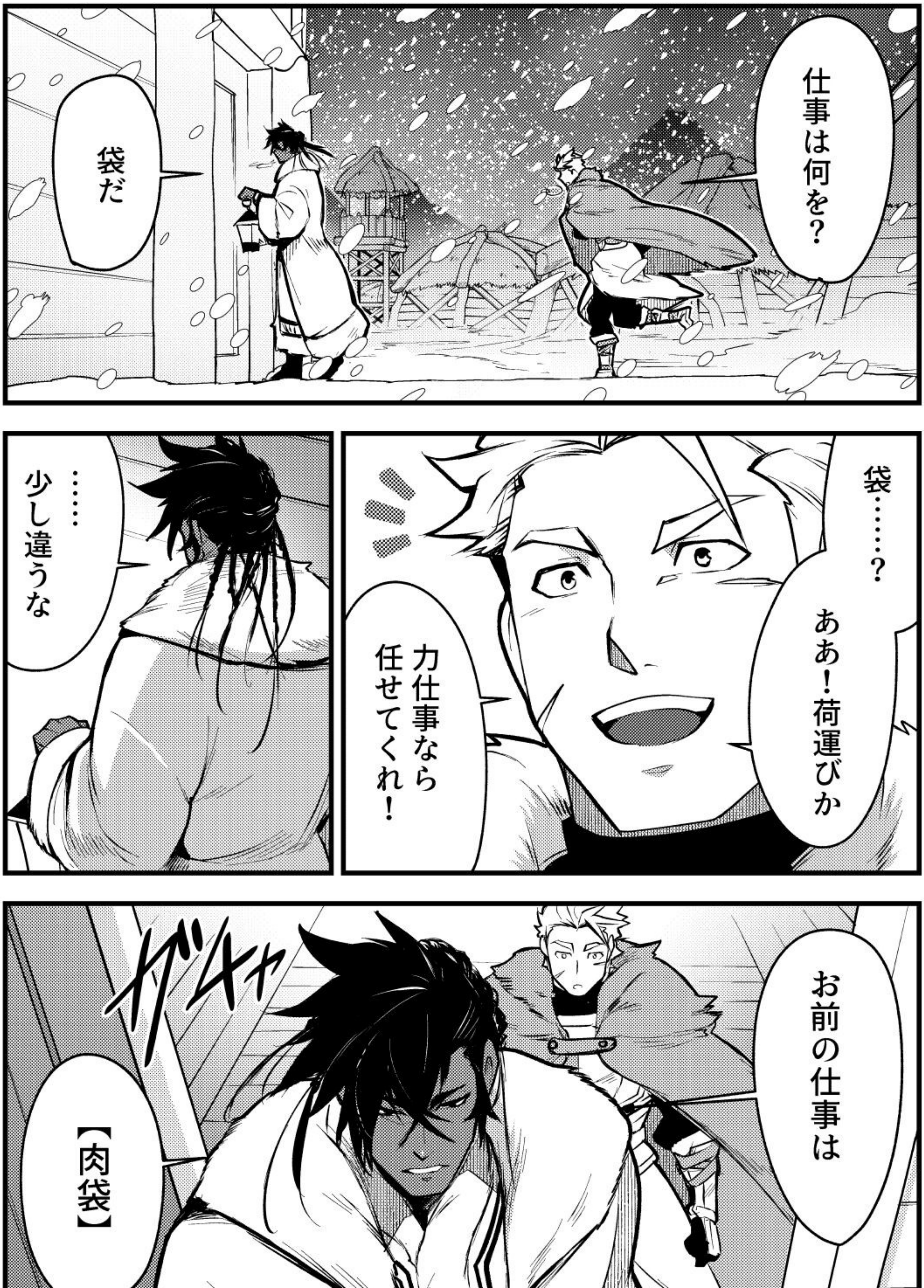
黒鉄の宿

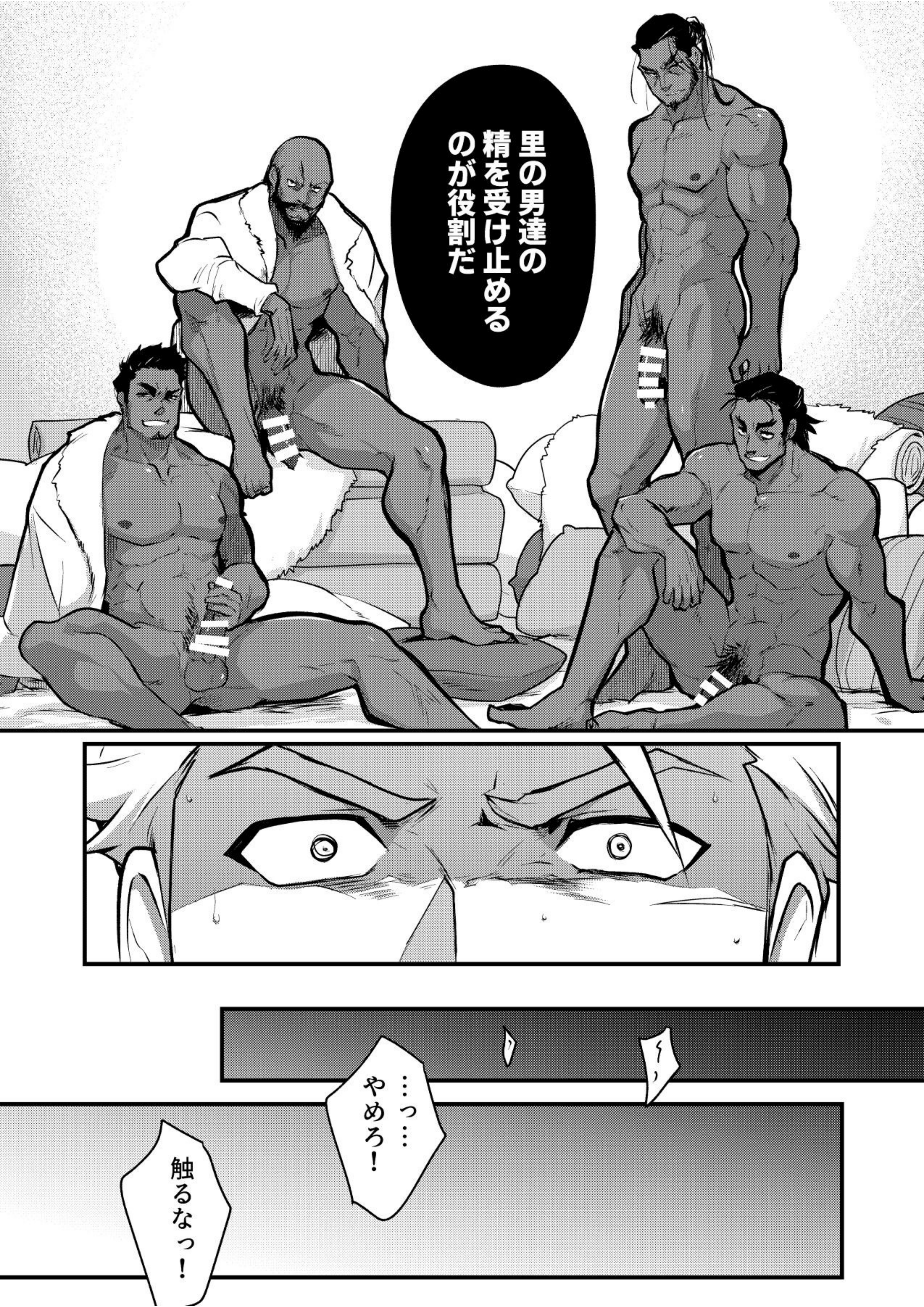
性奴隷へと堕つ剣士

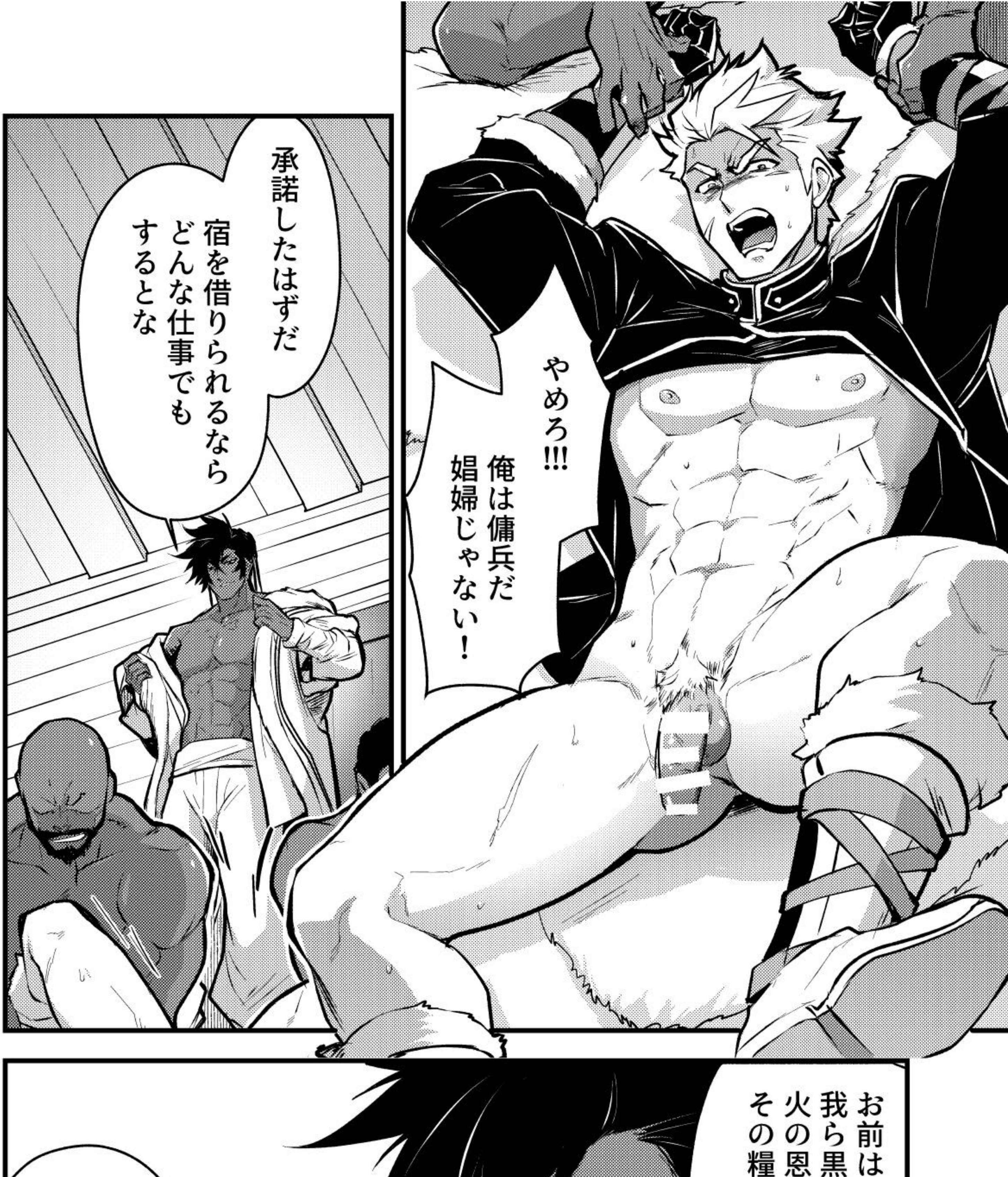

ブォオオオオオオオオオォ
ズズーッ
パチパチ…
ふう 生き返った！

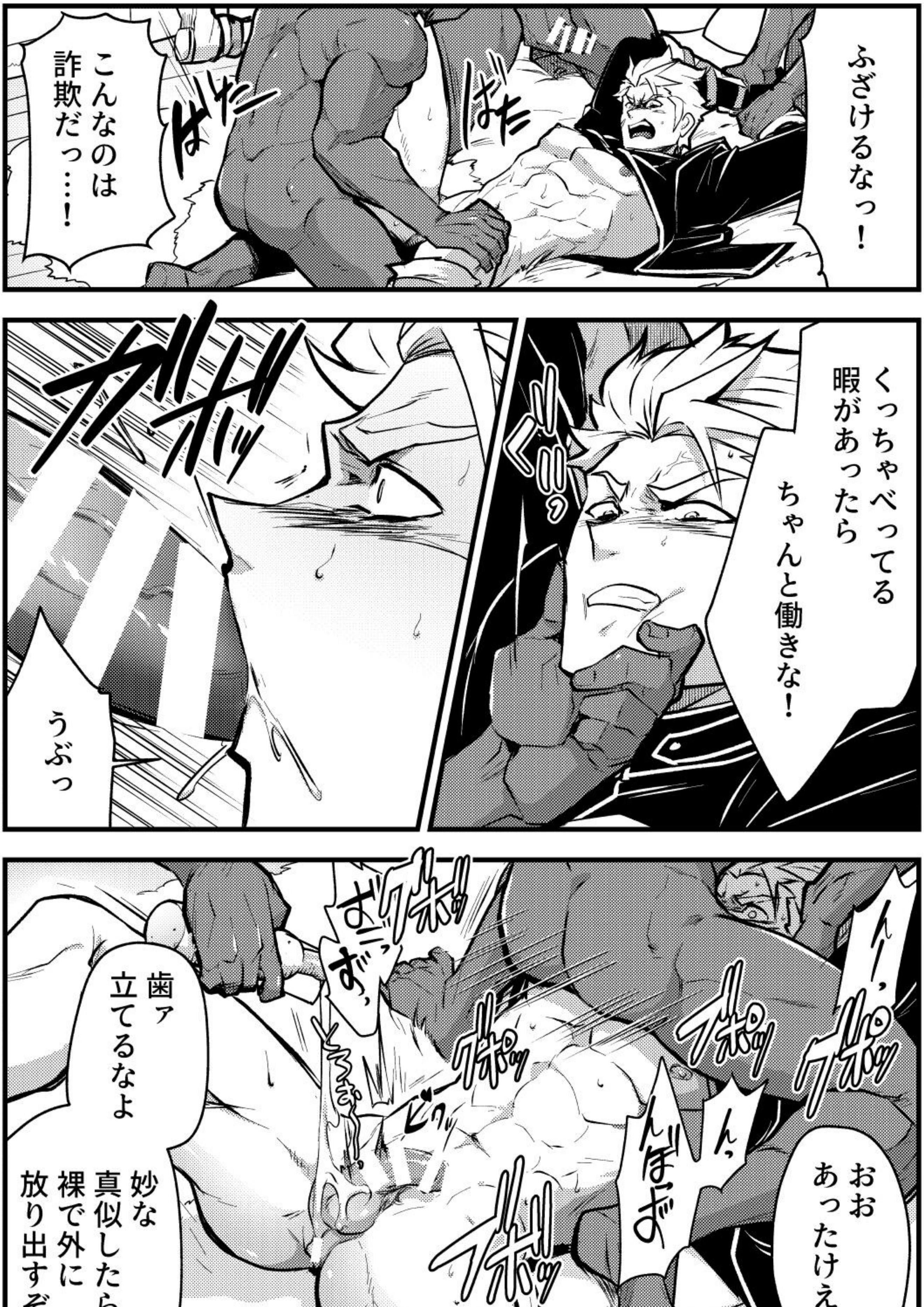

突然の吹雪で危うく氷漬けになるところだった
宿を借りられただけでなく暖かい食事まで用意してもらって
本当に感謝している
真冬にこの山を登ろうとは酔狂な
お前も剣神の祠が目的か？
ああ
霊峰バムラッカ
その頂にある剣神の祠は剣士にとっての聖地だ
俺は傭兵として剣の腕一本で生き抜いてきた身の上でな
いつか祠を訪れ剣神の祝福を受けることを夢見ていたのだ

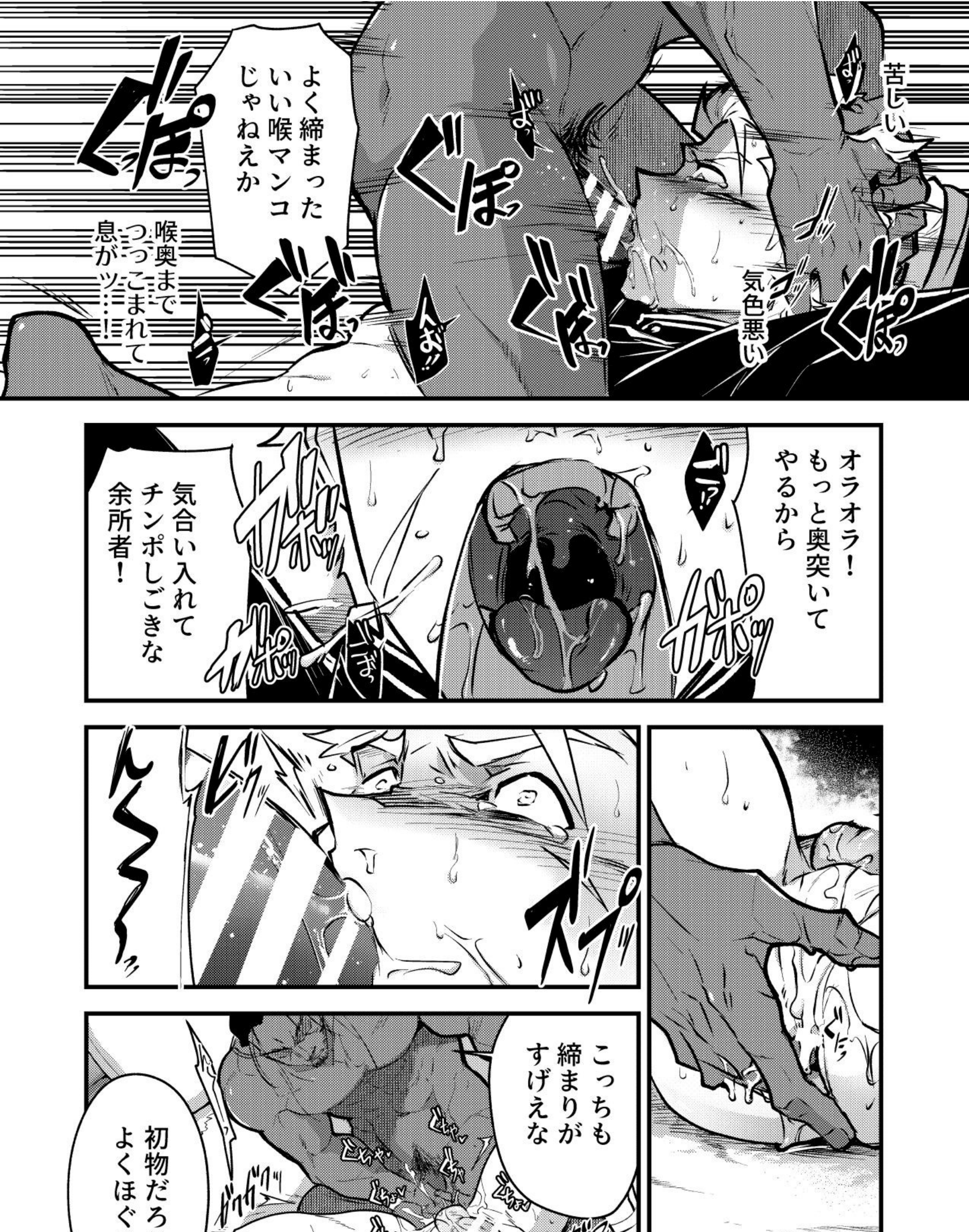

それが今回護衛の仕事で運よく霊峰のお膝元に来る機会に恵まれた
冬の登頂は厳しいが天候に恵まれれば不可能でもないとふもとで聞き
ならば多少無茶をしてでも…と思ったのだ
とはいえこの吹雪いつになったら止むのやら……
天の機嫌は予測がつかぬもの
仕事をするなら雪が収まるまでこの里に留まることを許そう
ああ！ぜひともやらせてくれ

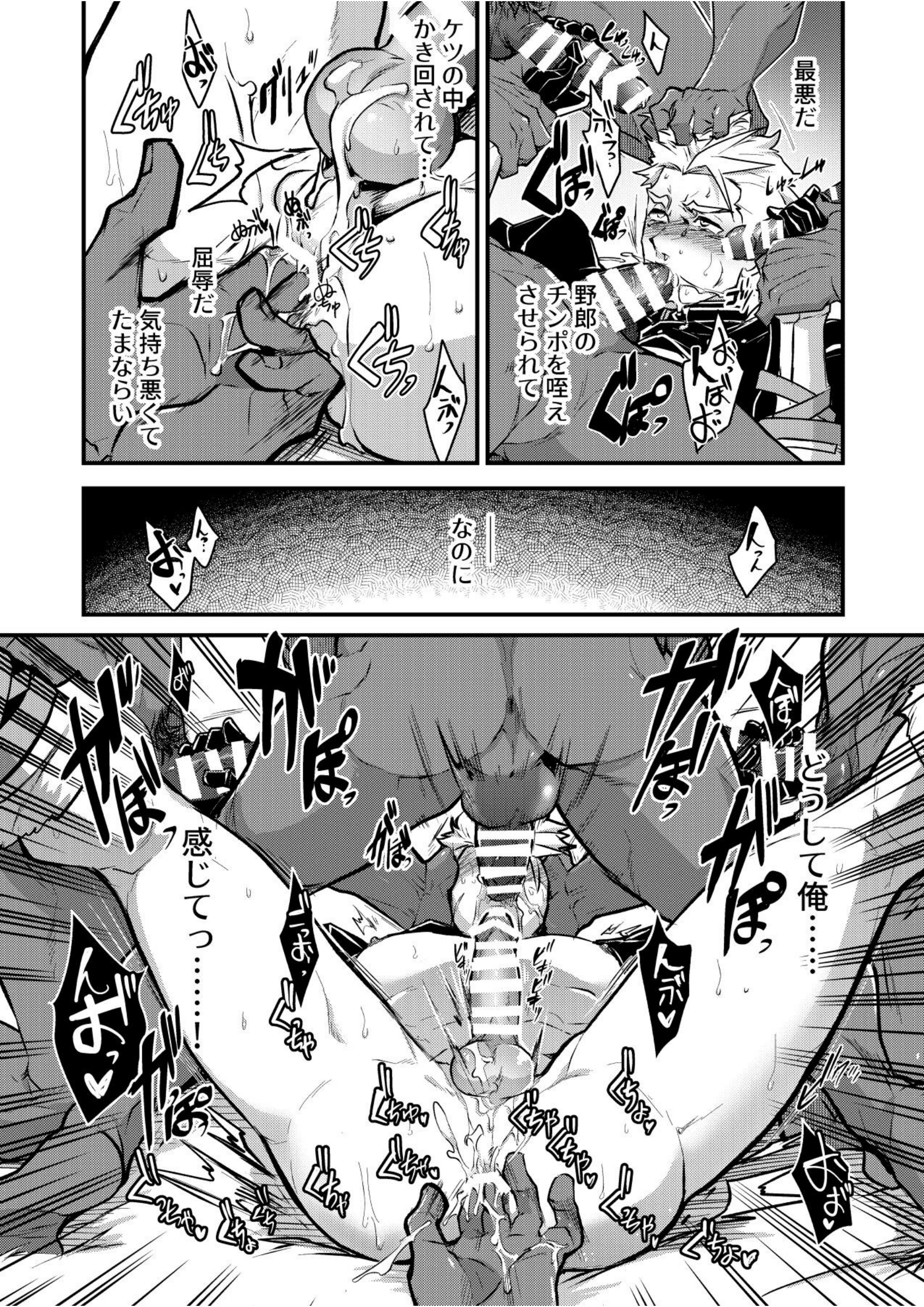

仕事は何を？
袋だ
袋……？
ああ！荷運びか
力仕事なら任せてくれ！
……少し違うな
お前の仕事は
ガチャ
【肉袋】

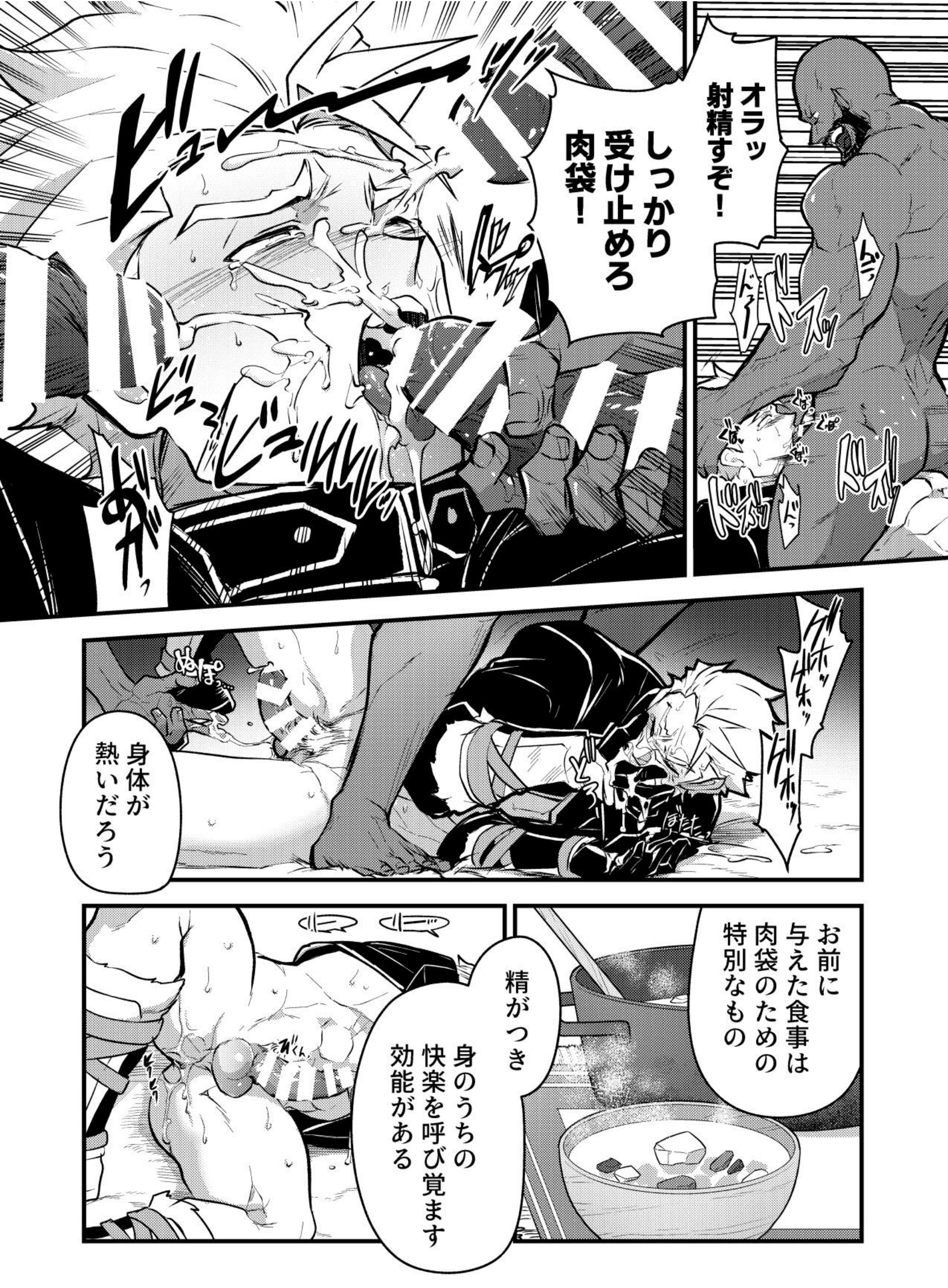

里の男達の精を受け止めるのが役割だ
…っ…やめろ！
触るなっ！

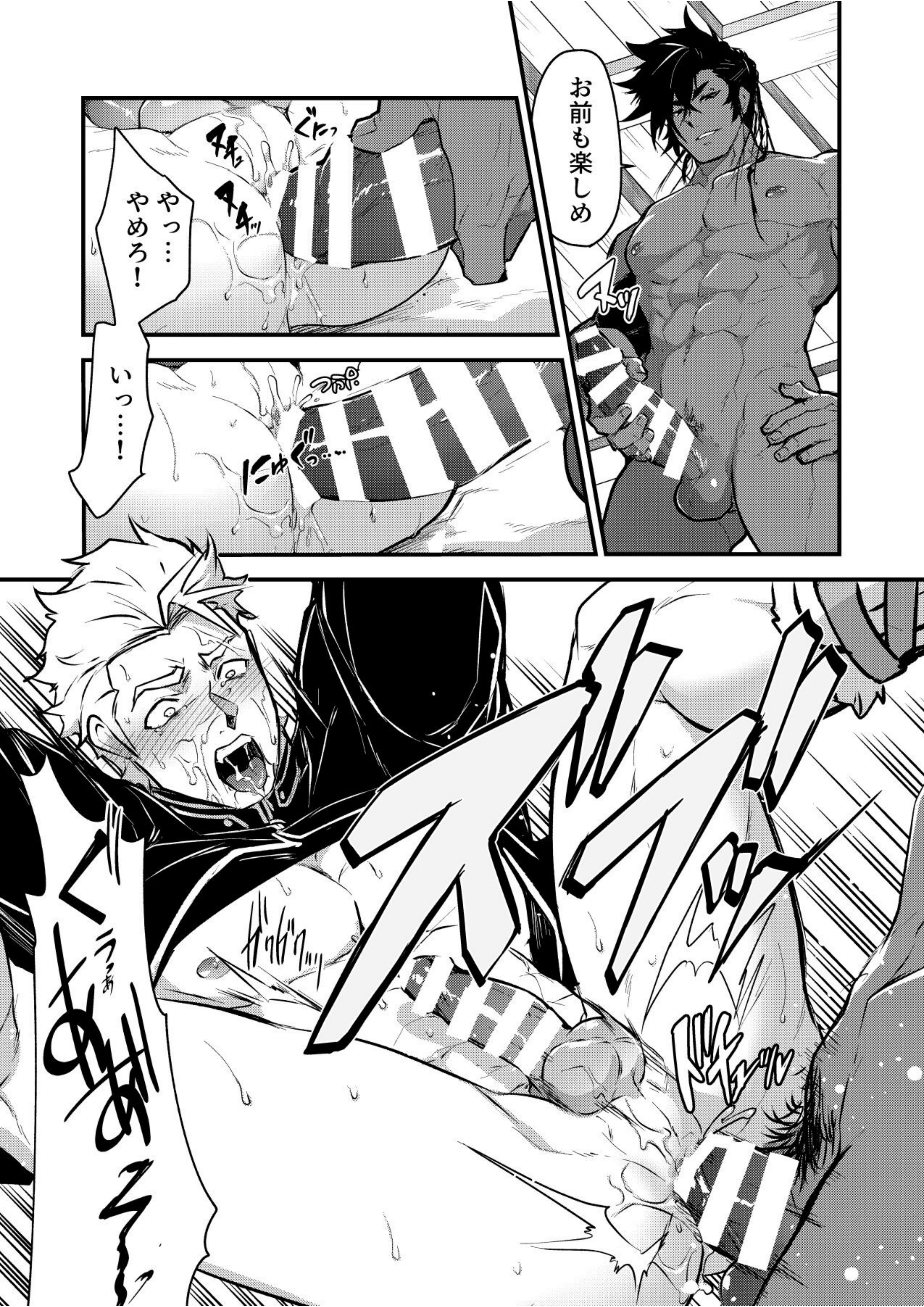

やめろ!!!
俺は傭兵だ 娼婦じゃない！
承諾したはずだ 宿を借りられるなら どんな仕事でもするとな
お前は 我ら黒鉄の民の 火の恩恵を受け その糧を口にした
対価は 支払って もらわねばな

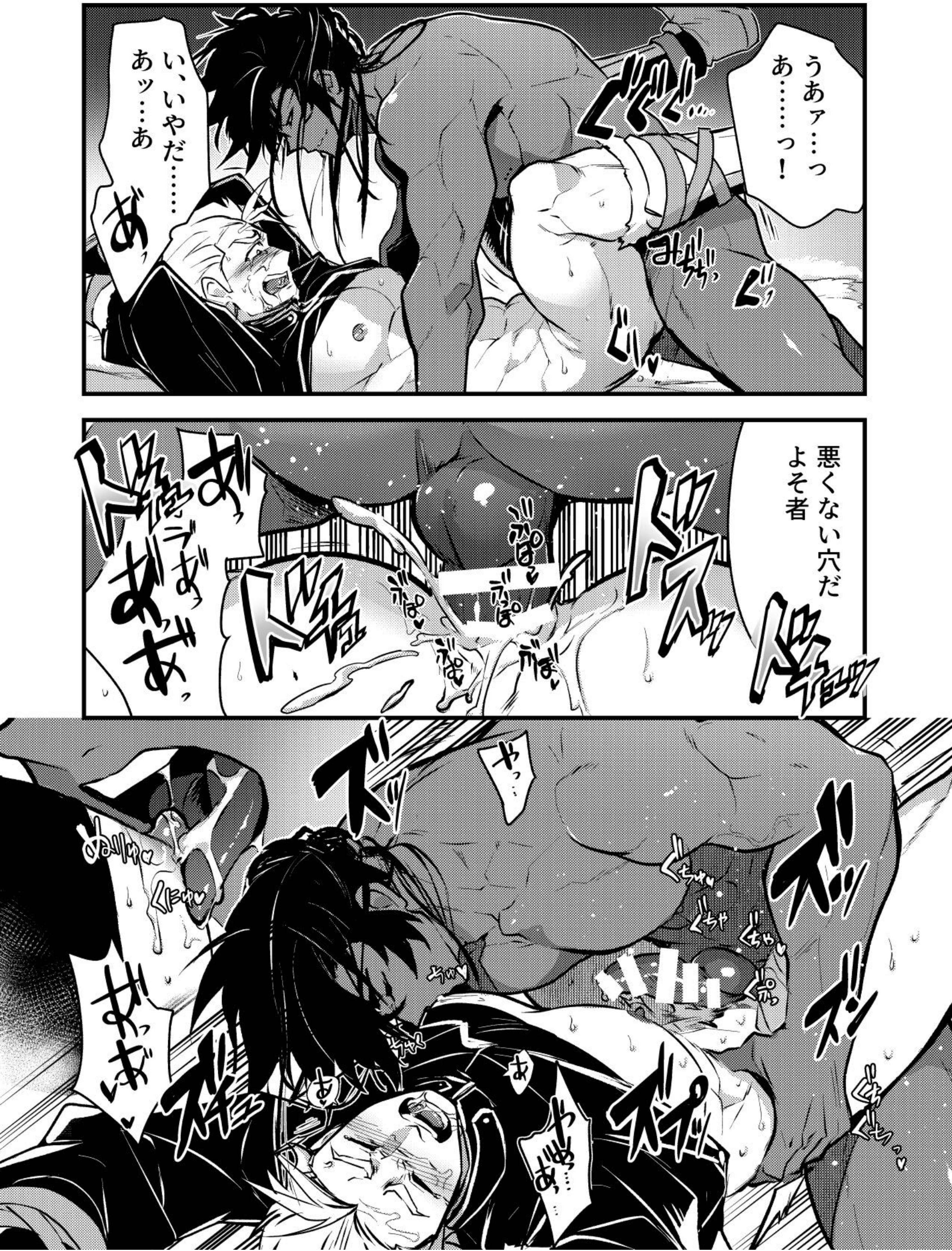

ふざけるなっ！
ばた
ばた
こんなのは詐欺だっ……！
くっちゃべってる暇があったらちゃんと働きな！
ぐぐっ
ガボッ
うぶっ
んー、
グポッ
グポッ
おおあったけえ
ん、
んぼぉ
グポッ
グポッ
ずこっ
ずっ
グポッ
とろぉ～
ビクッ
歯ァ立てるなよ
妙な真似したら裸で外に放り出すぞ
グポッ

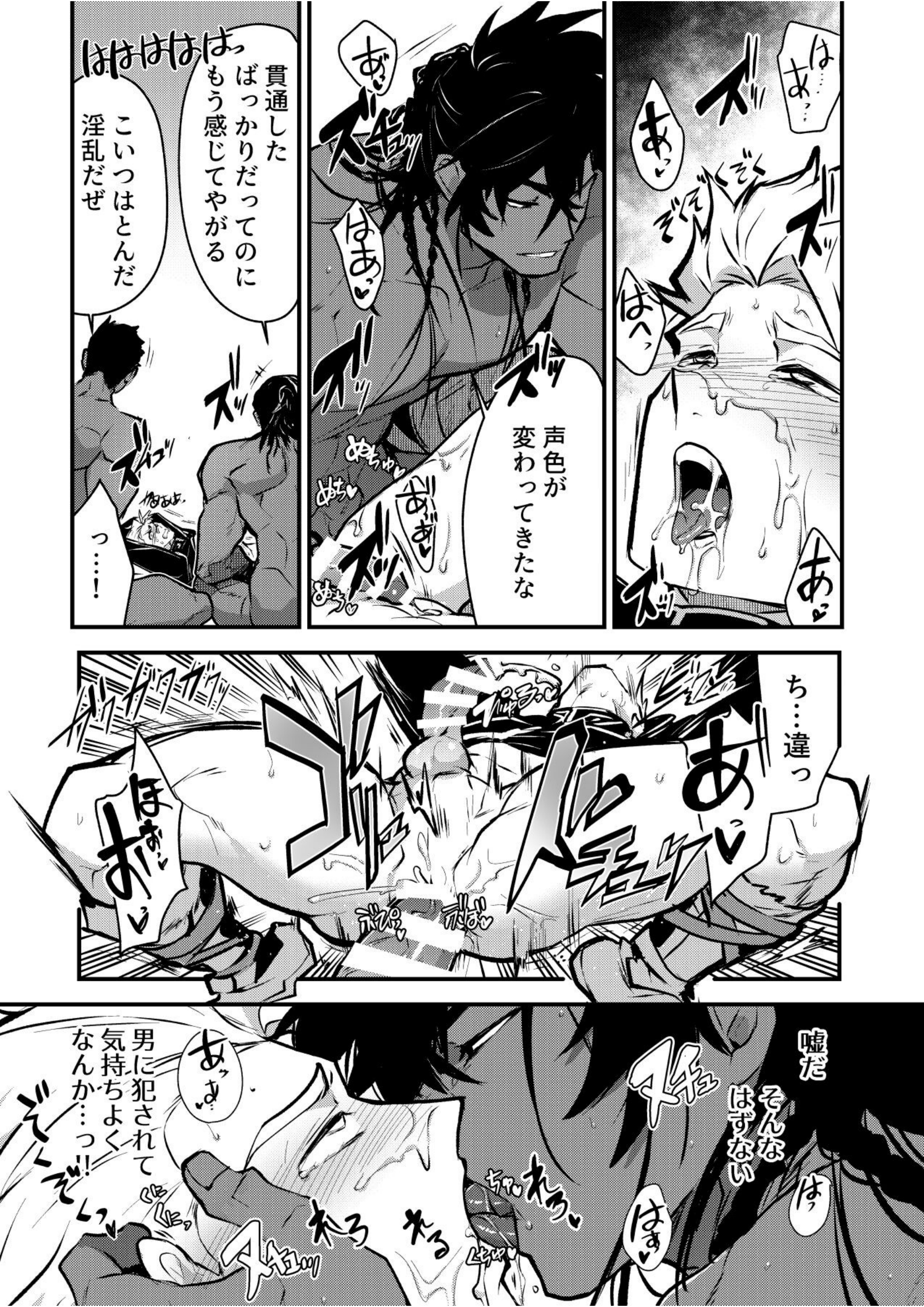

苦しい
気色悪い
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
よく締まった
いい喉マンコ
じゃねえか
ぐぽっ
ぐぽっ
喉奥まで
つっこまれて
息がッ…！
オラオラ！
もっと奥突いて
やるから
ガポッ
ガポッ
ガポッ
気合い入れて
チンポしごきな
余所者！
ズプッ
んぐ〜〜
こっちも
締まりが
すげえな
初物だろう
よくほぐせ

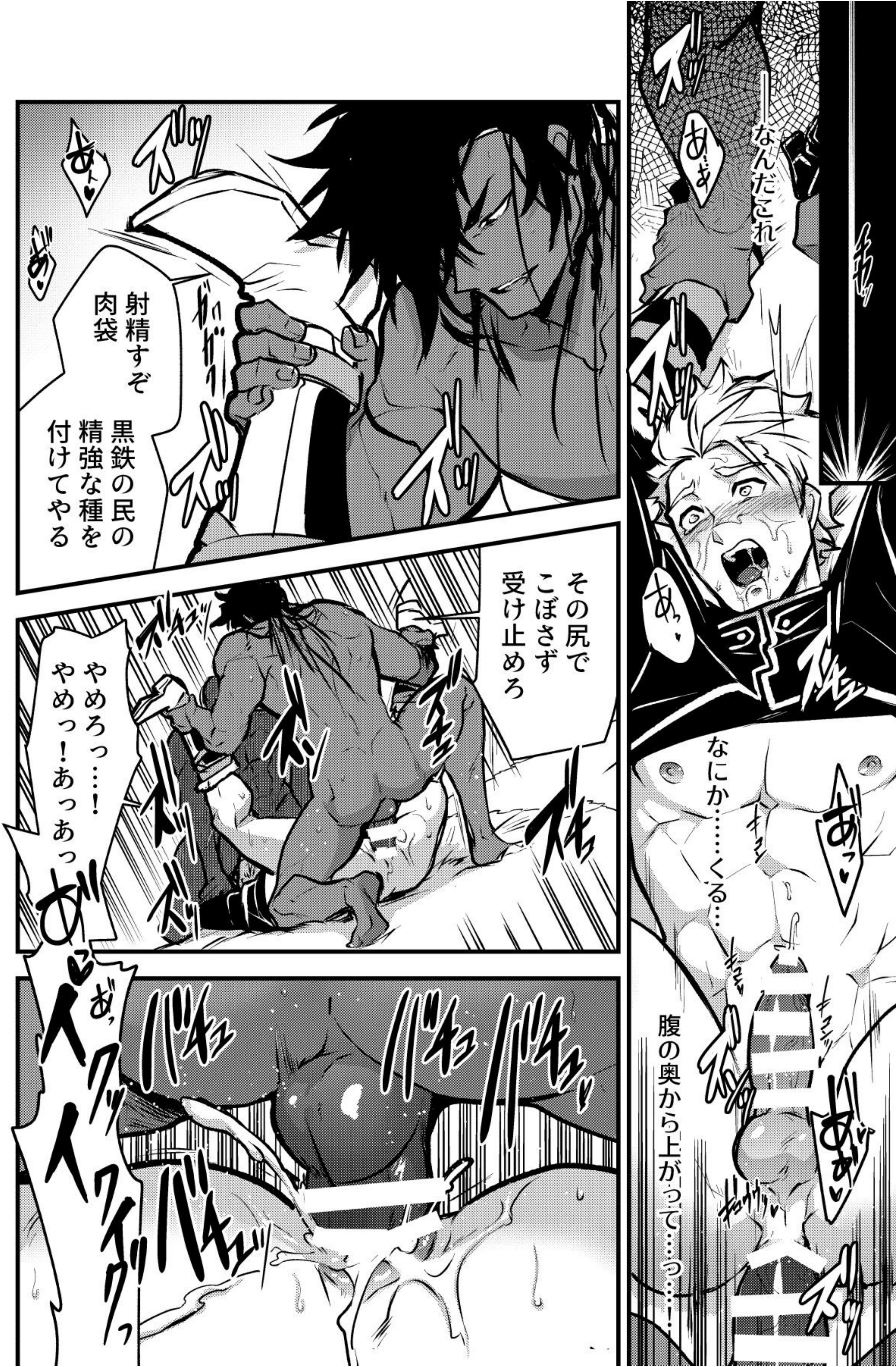

最悪だ
野郎のチンポを咥えさせられて
んっ
ぐぽっ
ぽっ
んおっぼっお
ぐぽっ
ケツの中かき回されて……
屈辱だ
気持ち悪くてたまならい
ぼっ
ぐちゅ
ぐち
ぬぷっ
ぐち
ぐちゅ
ぐちっ
んぶっ
なのに――
んっん
んぅ… おっ♥
どうして俺……
感じてっ……!
がぽっ
がぽっ
がぽっ
がぼっ
がぽ
ぐぽっ
んぼっ♥
んぶ♥
ぐちゅ
ぐちょ♥
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちょ♥
おお♥


オラッ
射精すぞ！
しっかり
受け止めろ
肉袋！
ビューーーッ
ビュ
ビュルルルルッ
あガッ
ぐぽ
ぐぽ
ドスッ
ドスッ
ゲホッ
ゲホッ
ゲホッ
ぬぽっ…
身体が
熱いだろう
ぽたた
お前に
与えた食事は
肉袋のための
特別なもの
精がつき
身のうちの
快楽を呼び覚ます
効能がある
びくん

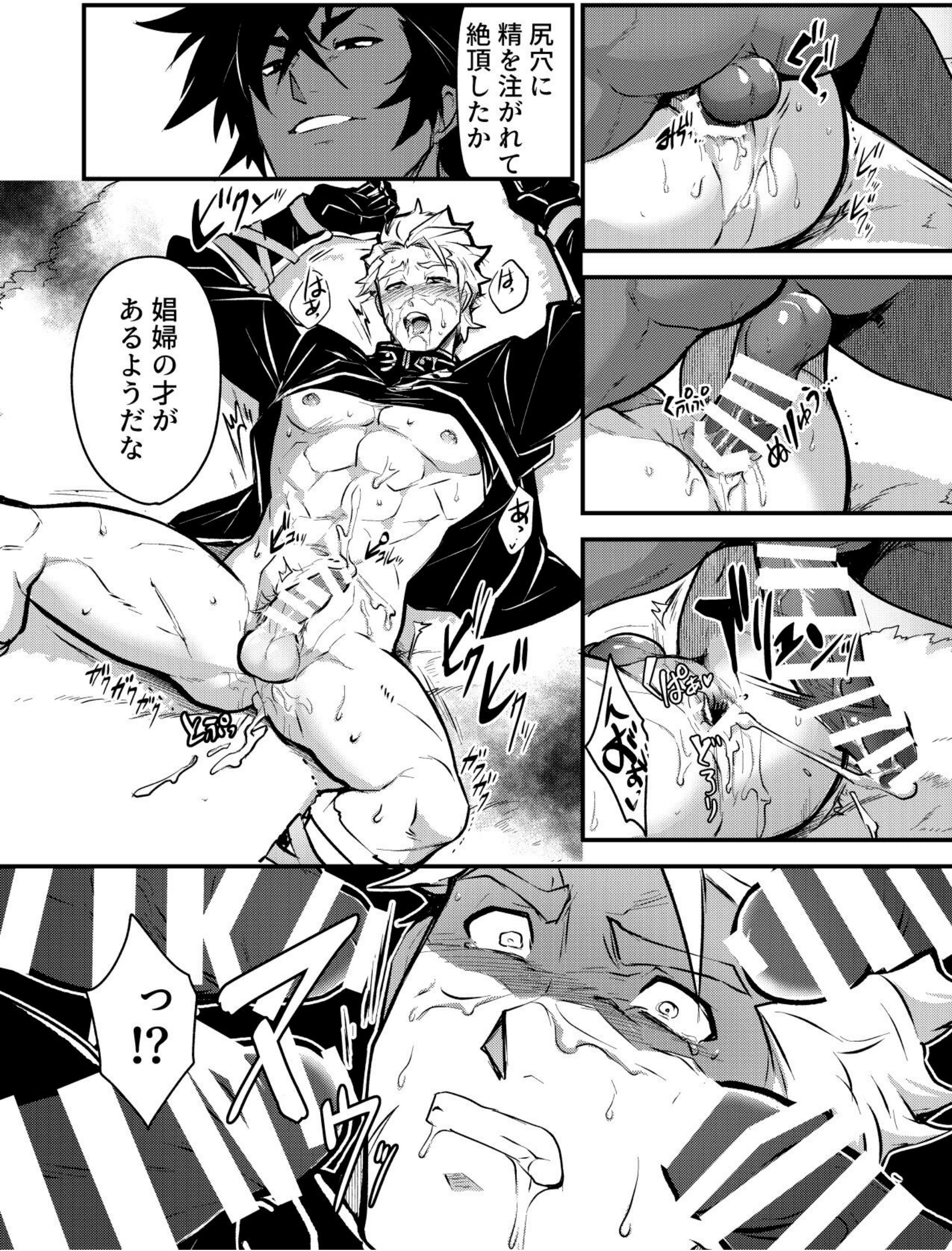

お前も楽しめ
ヌッ
ぐにっ
ヌチュ
ヌチッ
やっ…やめろ!
つぷ
にゅぐっ…
いっ……!
ズグッ
ガクガクッ
ドチュッ
くぁああ〜

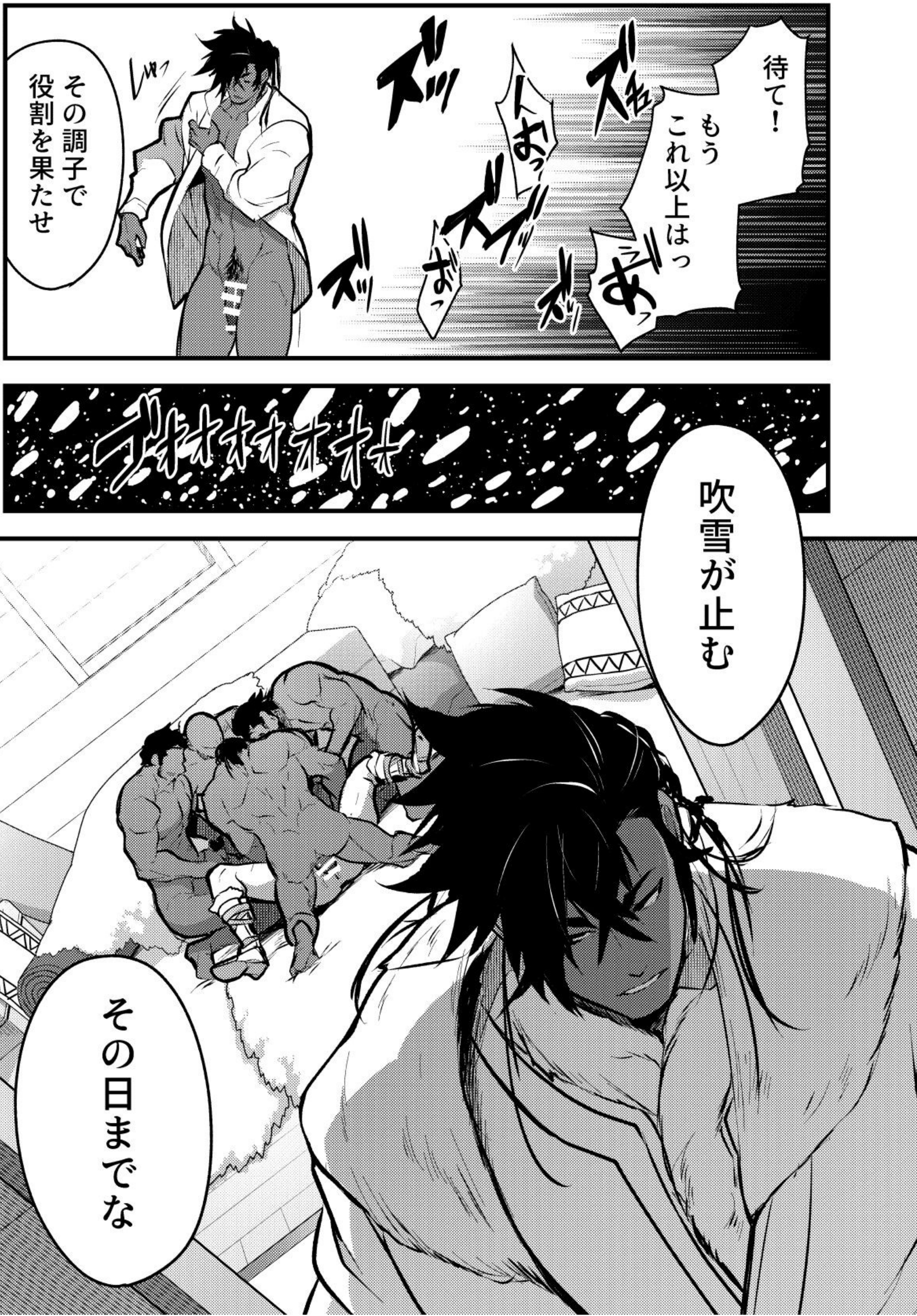

うあァ…っ
あ……っ！
ぐぐぐ…
い、いやだ……
あッ…あ
あっ
みぢぢっ
ぐっ
ぐ♥
悪くない穴だ
よそ者
ドスッ
ドチュッ
ごぽっ
ごぽぉ♥
ごぽ♥
ごぽ
ドチュ
あ゛っ
ゔぉっ
あ゛あ゛っ
ドチュ
やっ…
ズッ
ズッ
ズッ
ぬりゅ♥
くにゅ♥
ぐちゅ♥
ぐちゃ
ぐちゃ♥
ぐぷっ
ぐちぐちっ♥
おっぎ
ズチュ
ズパン
あ
や…めっ…
あっ…

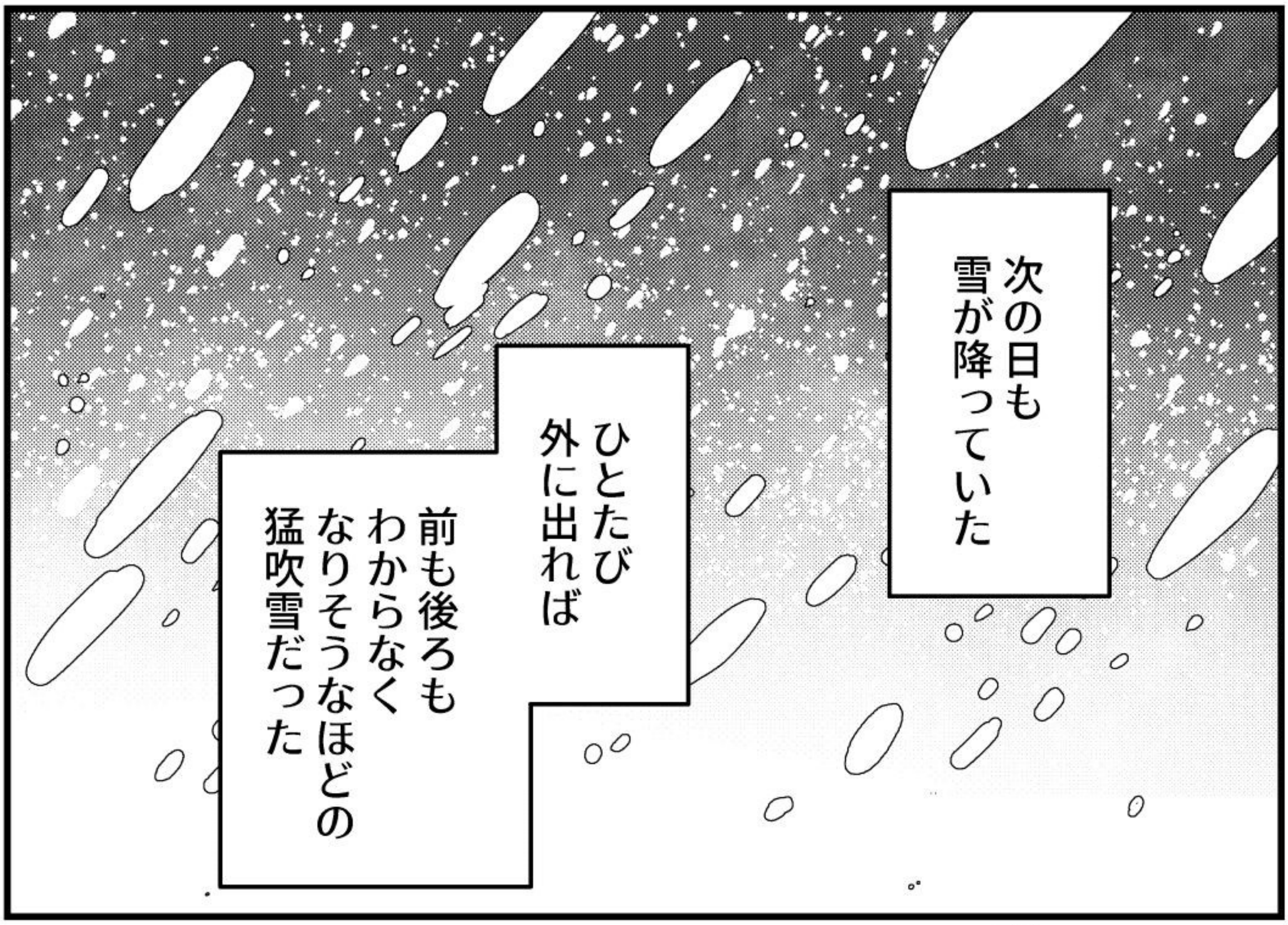

はぁ……
ズズッ
あっ
ぞくぞくぞく
ズズッ
はへっ
あっ♥
ズッ
あ゛っ
ズチュッ
はあっ♥
ズッ
ズッ
声色が変わってきたな
ぬちゅ♥
あ゛あ゛♥
ぬち♥
ズッ
ぬち♥
ははははっ
貫通したばっかりだってのにもう感じてやがる
こいつはとんだ淫乱だぜ
ズッ
ズチュッ
っ……！
ち…違っ
あっ
ゴリュ
ぷしゅっ
ガクガクッ
ほぉ゛お゛♥
ぼぴゅ♥
ぶぱ♥
嘘だ
そんなはずない
はっ
はぁ♥
ヌチュ
ちゅ
れろ♥
れる
れろ
くちゅ♥
ヌチュッ
男に犯されて気持ちよくなんか…っ!!
あっぁ
ぞくぞくっ
くにくにっ

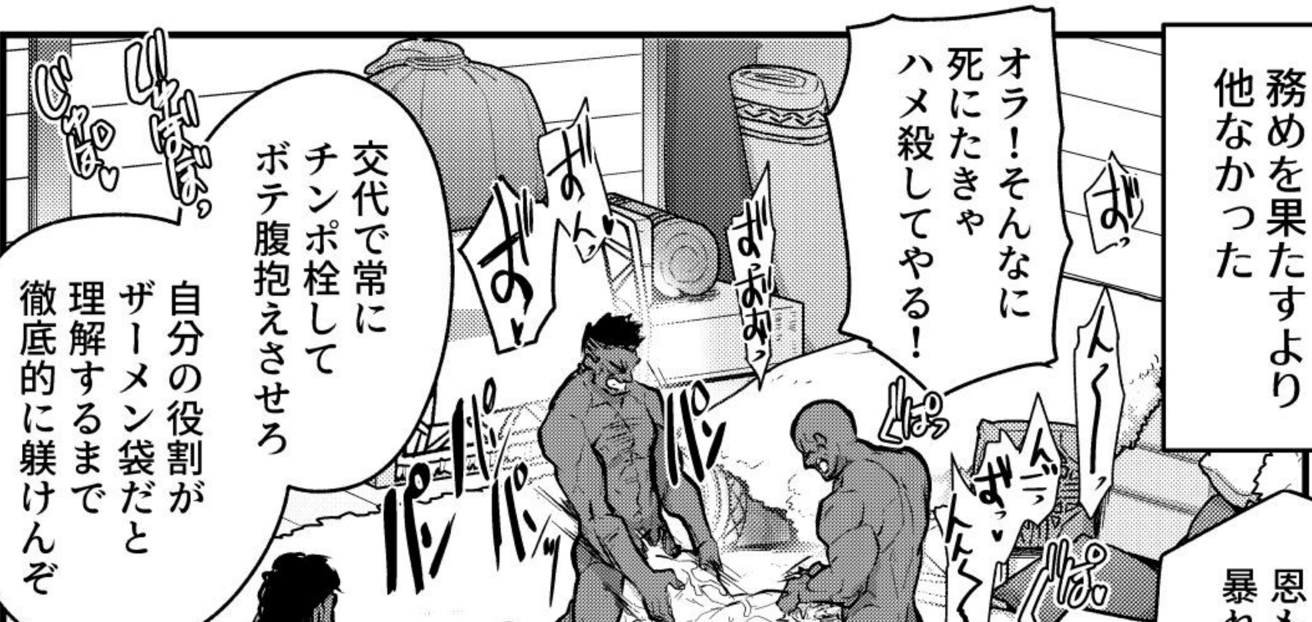

ズッ
あぉ
ーなんだこれ
チカッ
ズッ
あっ
なにか……くる…
あっ
キュン
キュン
腹の奥から上がって……っ……！
ビクン
あぉ
ズッ
ズッ
あん
あ゛
射精すぞ
肉袋
黒鉄の民の
精強な種を
付けてやる
ガッガッ
ズッ
ズッ
その尻で
こぼさず
受け止めろ
ズチュッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズチュ
ズチュ
やめろっ……！
やめっ！あっあっ
お゛
お゛っ
イクッ
イクッ
バチュ
バチュ
バチュ
バチュ

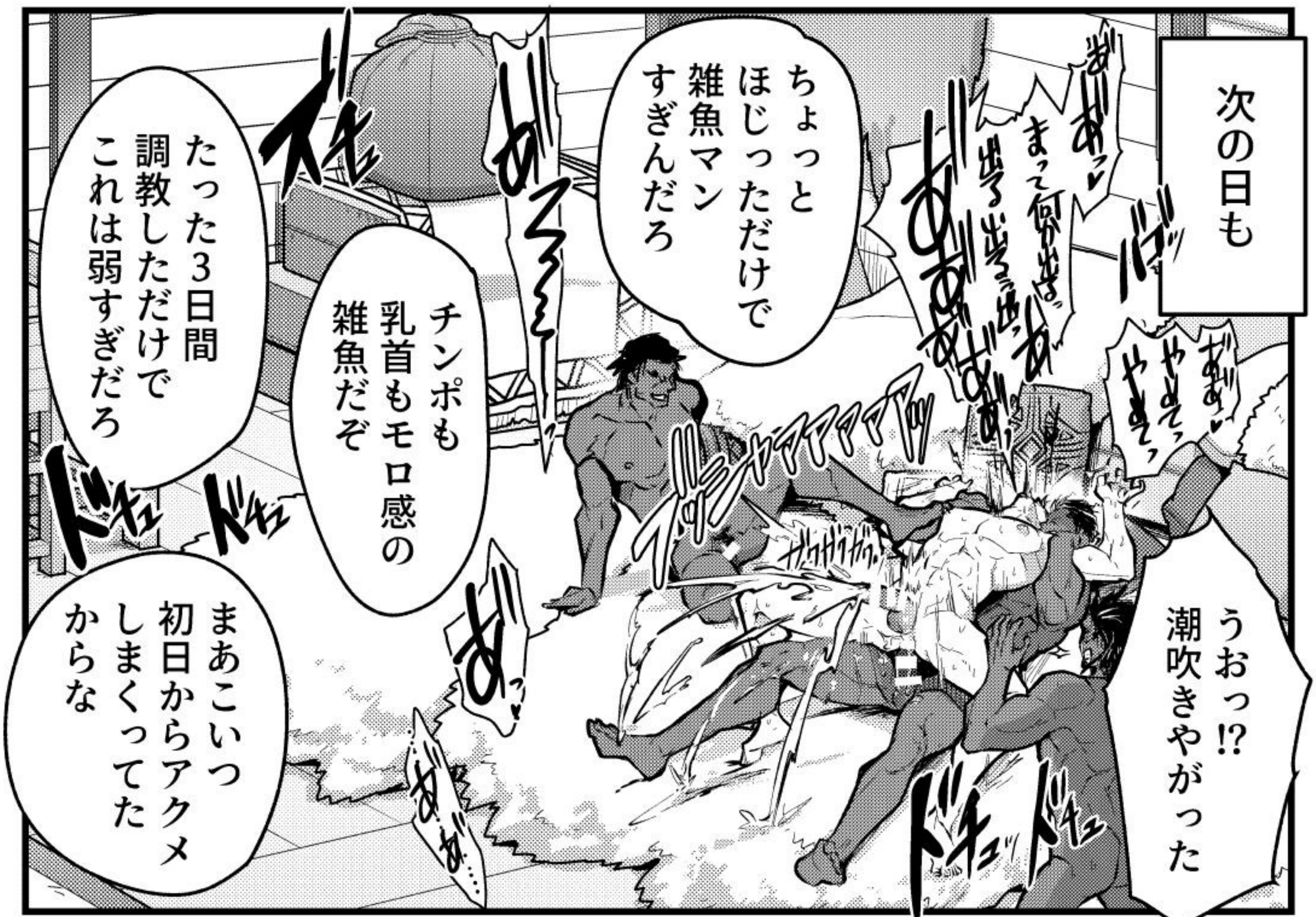
イグッイグッ
お゛っお゛おお゛お゛っお゛
びゅっびゅるっ♥
ビュルルルルルル
ギュンッ
ギュウウッ♥
ズプッ
キュウッ♥
ドプッ
お゛お゛お゛っ～♥♥♥っ
ガクッ
ブビュ
ギュウウウ～ッ
ギュウッ♥

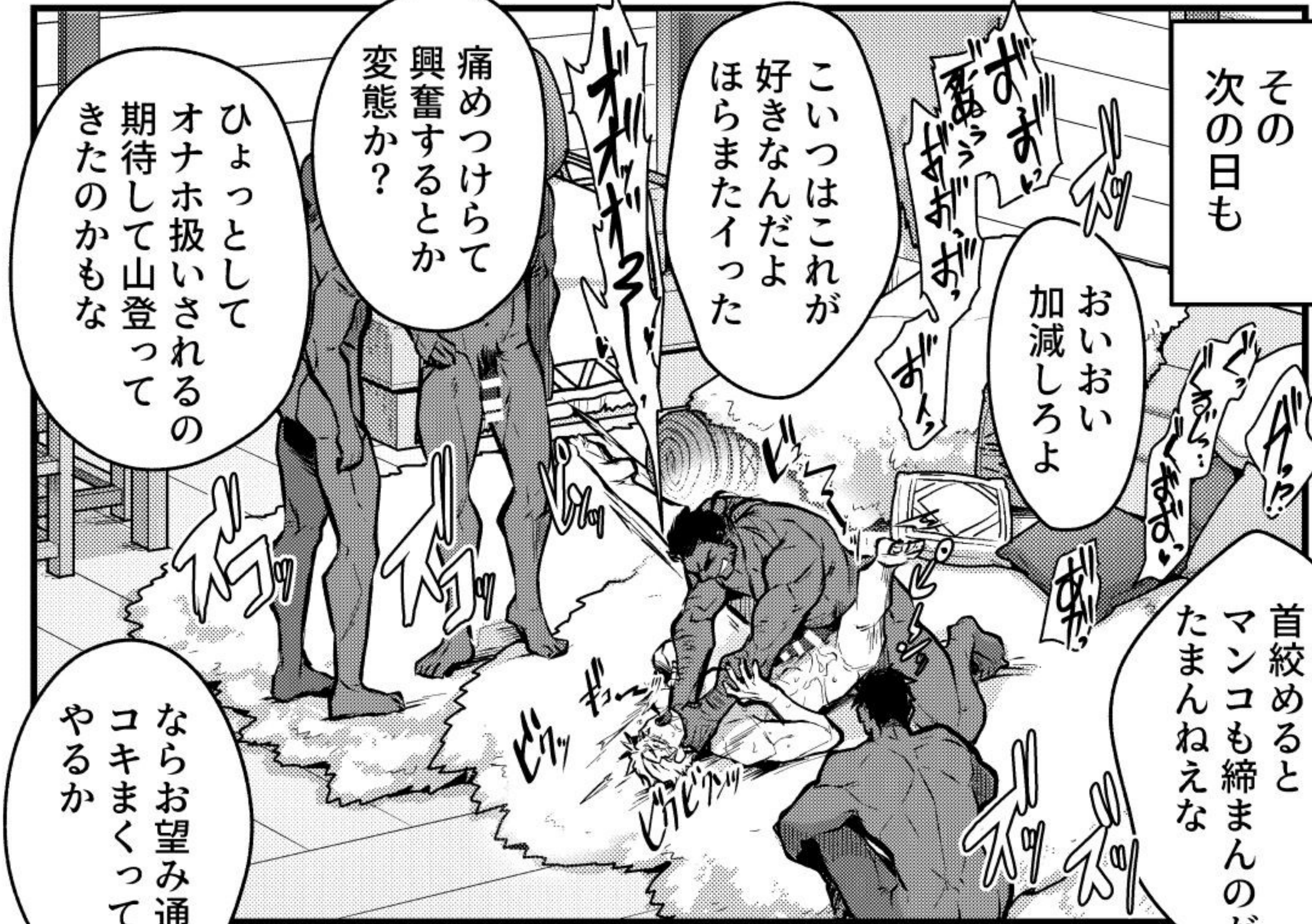

ぐぐ
みぢ…
ビグッビグッ
尻穴に精を注がれて絶頂したか
くぷぷ
ぬりゅう…
ズリュン
ぱぁ♥
どろり
んおぉっ
ビクン
はぁ
は
娼婦の才があるようだな
あっ
ビュッ
ぴゅるっ
ビクビクッ
ガクガクガク
とぷっ
ガクガク
っ!?

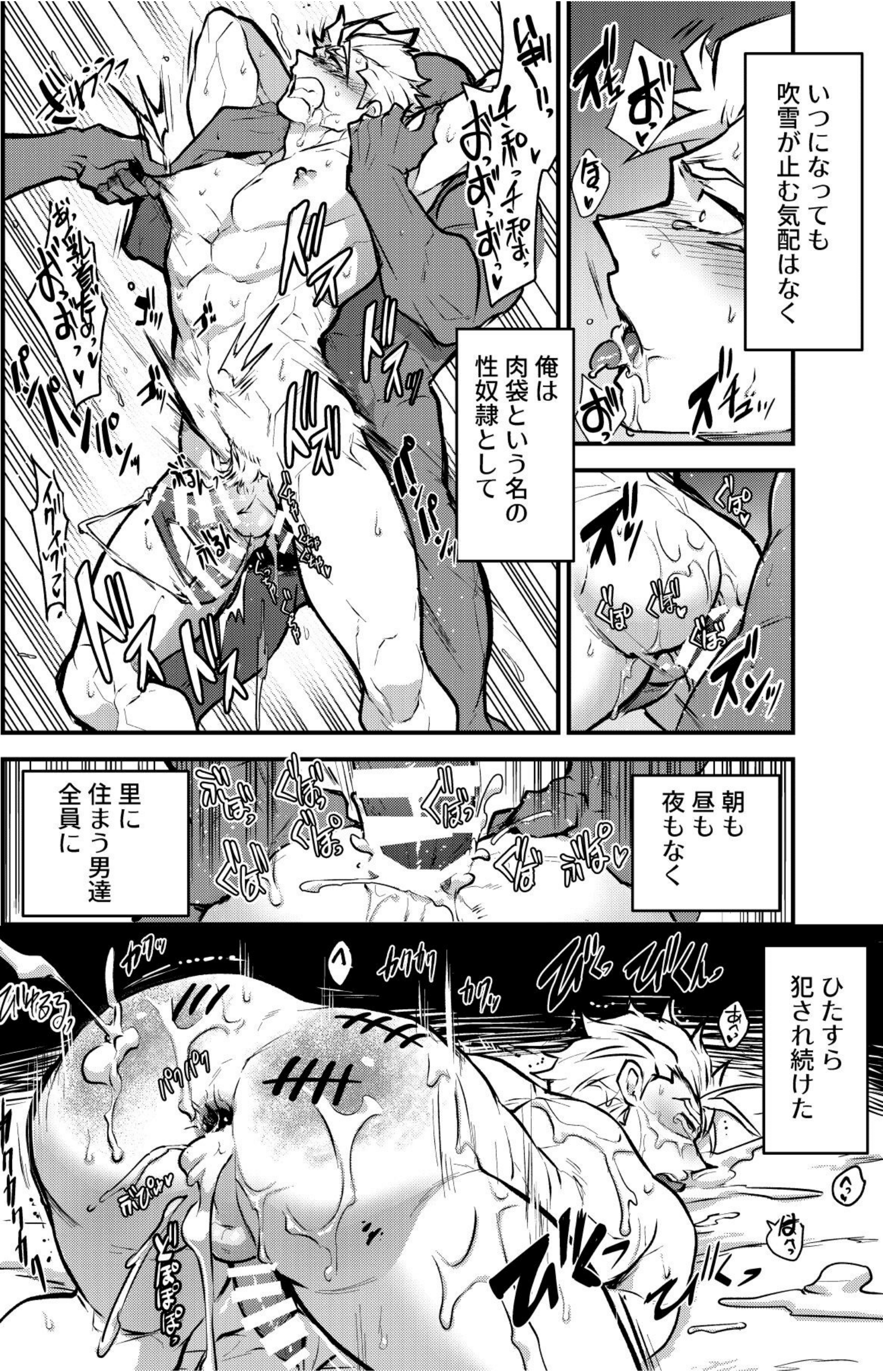

待て！
もう
これ以上はっ
ズるっ
あっ
ズッ
んおっ
ズッ
ぼっ
ズッ
ズッ
しゅっ
その調子で
役割を果たせ
ゴォオオオオオォォ
吹雪が止む
その日までな

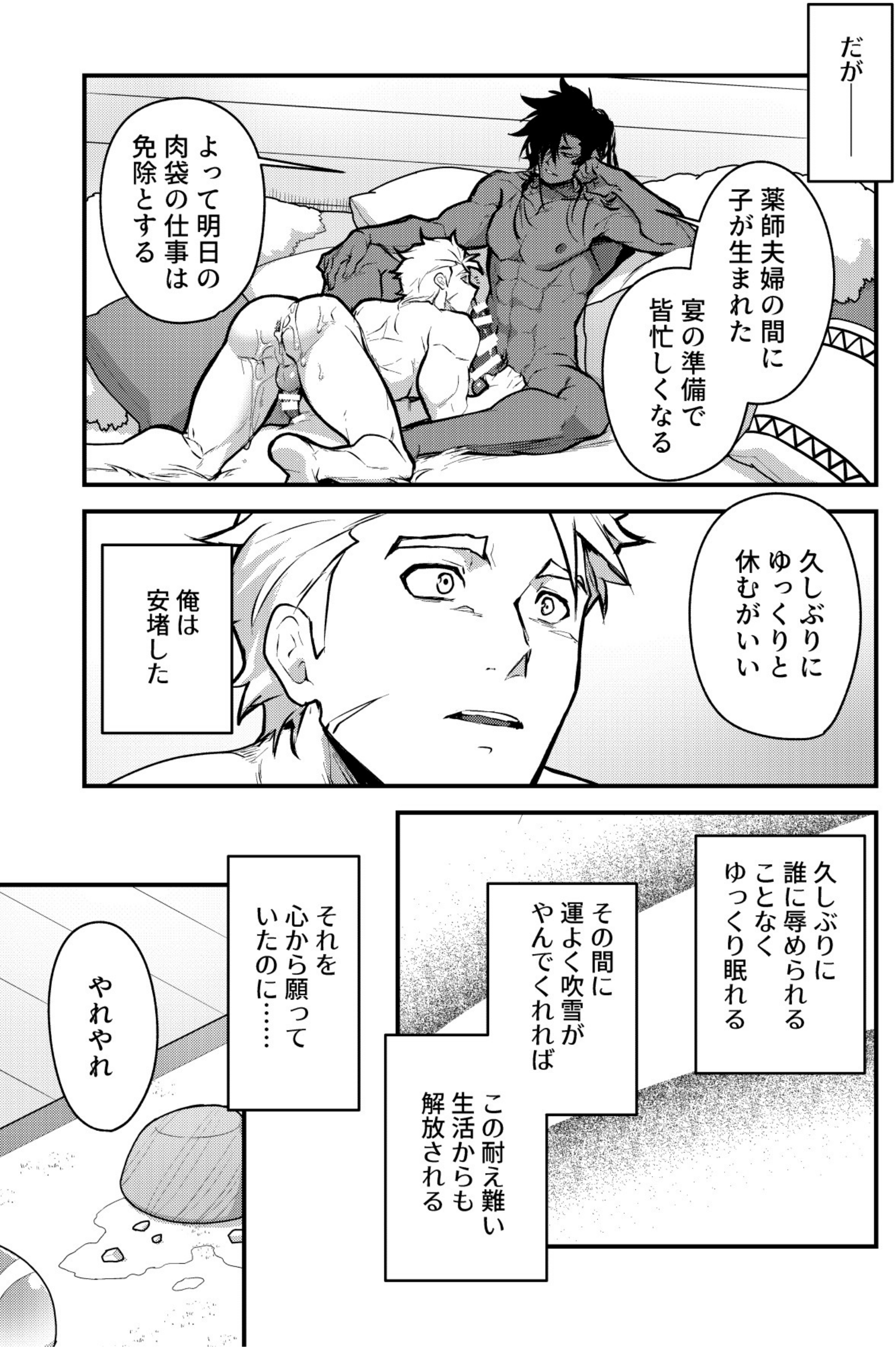

次の日も
雪が降っていた
ひとたび
外に出れば
前も後ろも
わからなく
なりそうなほどの
猛吹雪だった

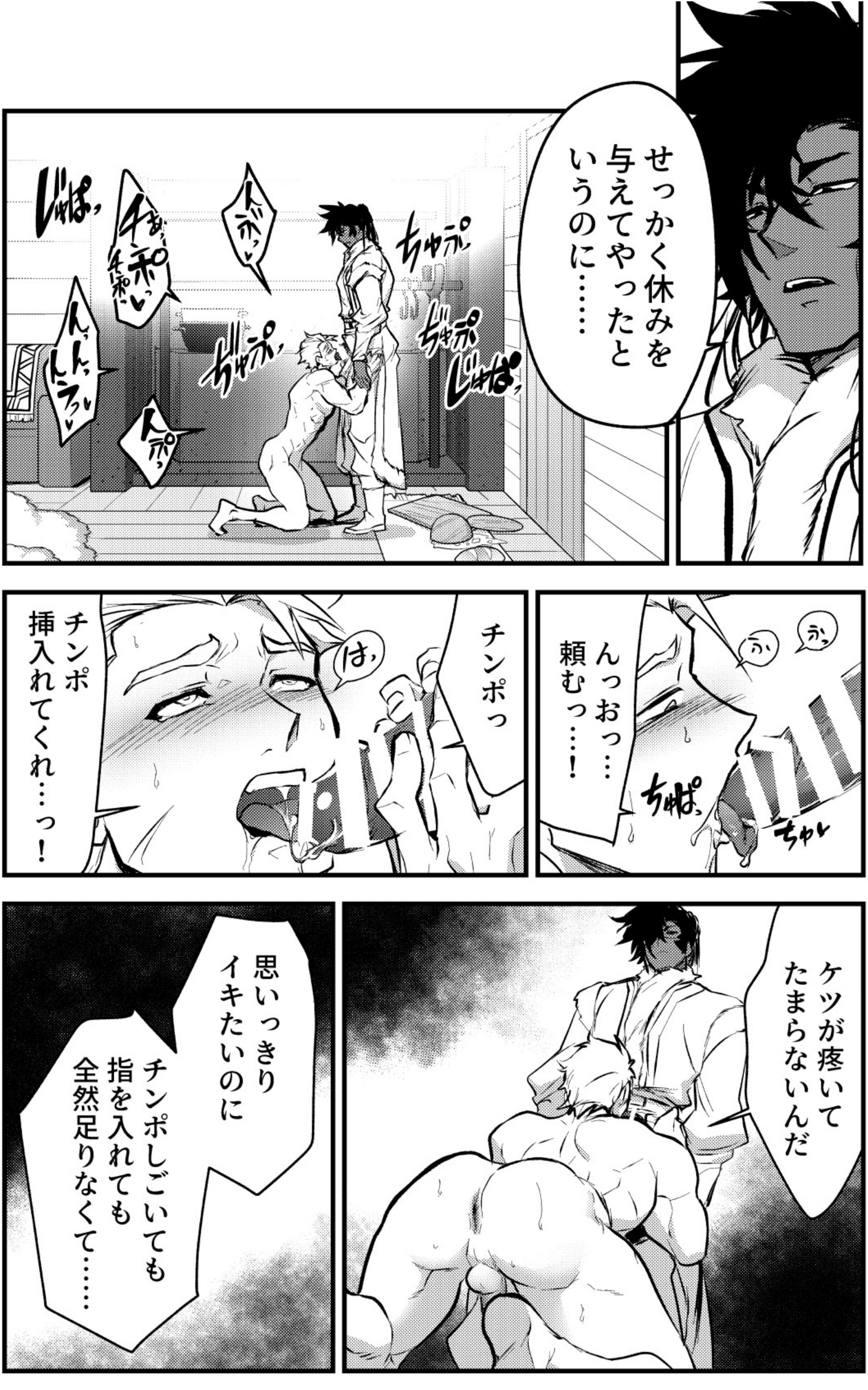

俺は肉袋としての
務めを果たすより
他なかった
オラ！そんなに
死にたきゃ
ハメ殺してやる！
ずっ
ん～～っ
ずっ
んぐ～～っ
ぐぽっ
ぐぽっ
ずぉおっ
ずおん
ずっ
パン
パンッ
パンッ
パッ
拾ってやった
恩も忘れて
暴れやがって
裸の肉袋が
人間様に敵う
わけねえだろ！
交代で常に
チンポ栓して
ボテ腹抱えさせせろ
自分の役割が
ザーメン袋だと
理解するまで
徹底的に躾けんぞ
じゅぽぽ
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぼっ
じゅぽっ
じゅるるる
んがっ
～ラ
んっぐ～～っ

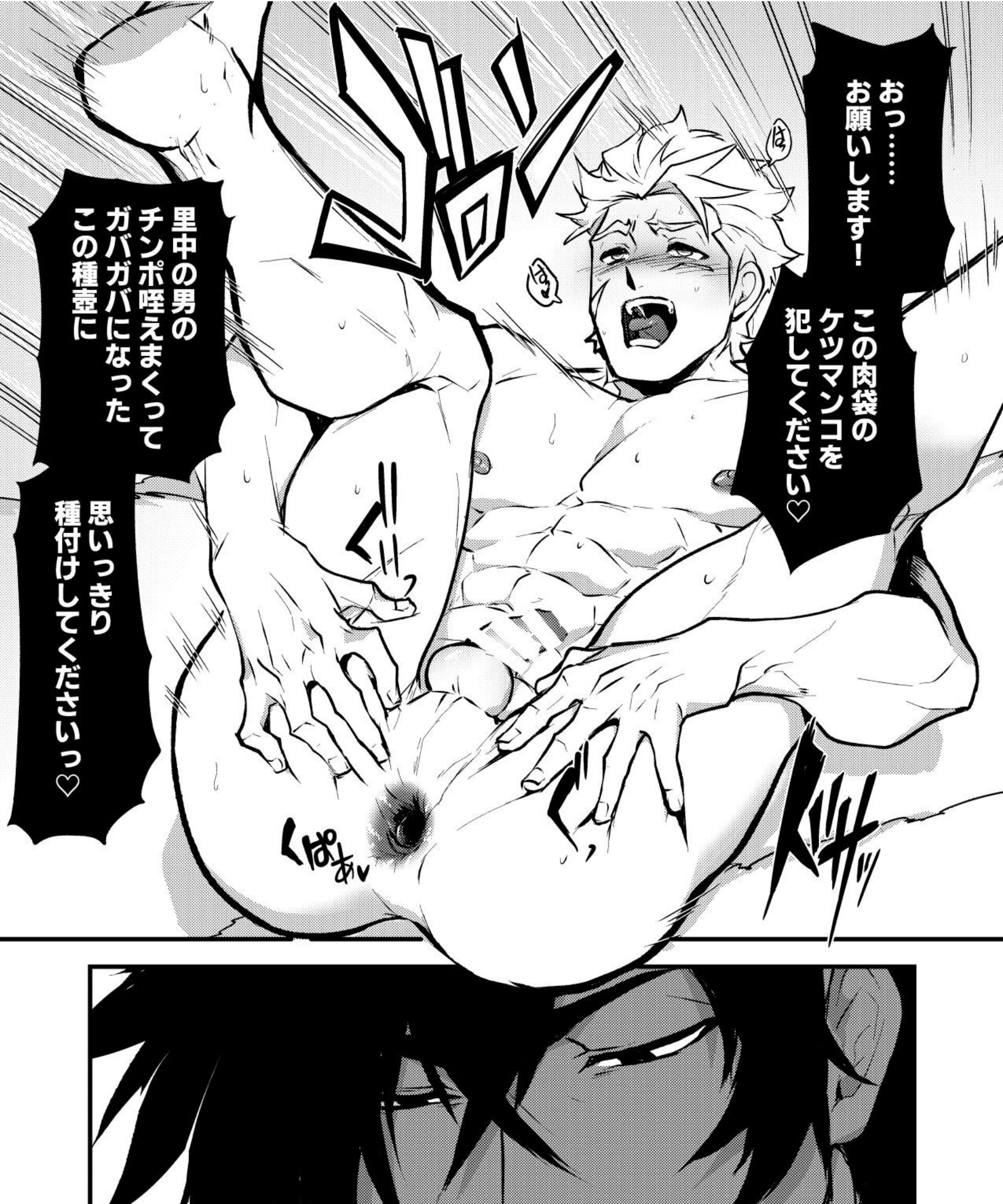

次の日も
バゴッ
おぉ やめてっ やめてっ
おおっ
まって何か出ぱっ 出る出るっ出っ あ
おおおおおっ
ちょっとほじっただけで雑魚マンすぎんだろ
ブッシャアアアアアッ
ガクガクガクッ
うおっ⁉ 潮吹きやがった
ドチュッ ドチュ
あ゛〜〜〜
チンポも乳首もモロ感の雑魚だぞ
ズチュ
たった3日間調教しただけでこれは弱すぎだろ
ドチュ ドチュ
おっ
まあこいつ初日からアクメしまくってたからな
おぉ…


その次の日も
ずおっ
おおぅ おおおっ
ズンッ
おいおい加減しろよ
おイっ
こいつはこれが好きなんだよ ほらまたイった
オオオオ〜
痛めつけらて興奮するとか変態か？
ひょっとしてオナホ扱いされるの期待して山登ってきたのかもな
ガッ⁉
ぐっ ぐぎっ ぐぎっ
おおっ
首絞めるとマンコも締まんのがたまんねえな
ビクッ
イグッ イグッ
ビクンッ
ならお望み通りコキまくってやるか
ズッ ズッ

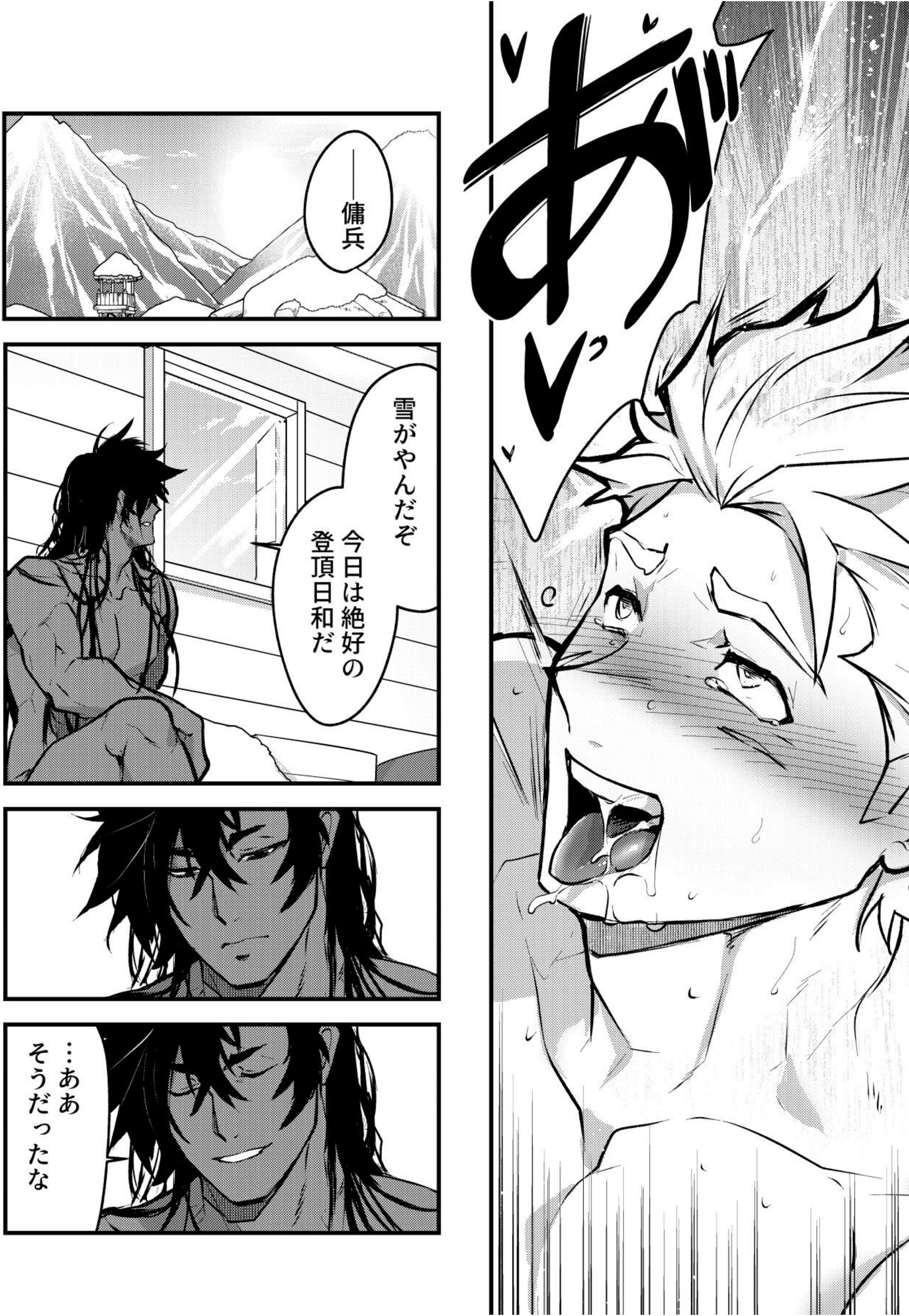

いつになっても
吹雪が止む気配はなく
ズぼ
おっ
ほ♥
お
ズチュッ
いぎ〜!!っ
乳っ乳まっ
おっずっずっ
ぎゅうっ
俺は
肉袋という名の
性奴隷として
ズ
ドスッ
ズドスッ
ゴッ
ゴッ
おっ乳首だめっ
おっおっ
パンパンッ
パンパンッ
イグイグッ
ぶるんっ
ぶるん
ズドスッ
ズッ
ぐぽ
ぐぽぐぽ
ぐぽ
ぐぽっ
ズンッ
朝も
昼も
夜もなく
ぶぽ♥
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽ
ぶぽっ
ぐぽ
里に
住まう男達
全員に
ひたすら
犯され続けた
びくっ
びくんっ
あへ
カクッ
カクカク
カクッ
へ
ぶぴゅ♥
どぽぽぽ
カクカクカク
びくっ
びくっ
はへ
へ

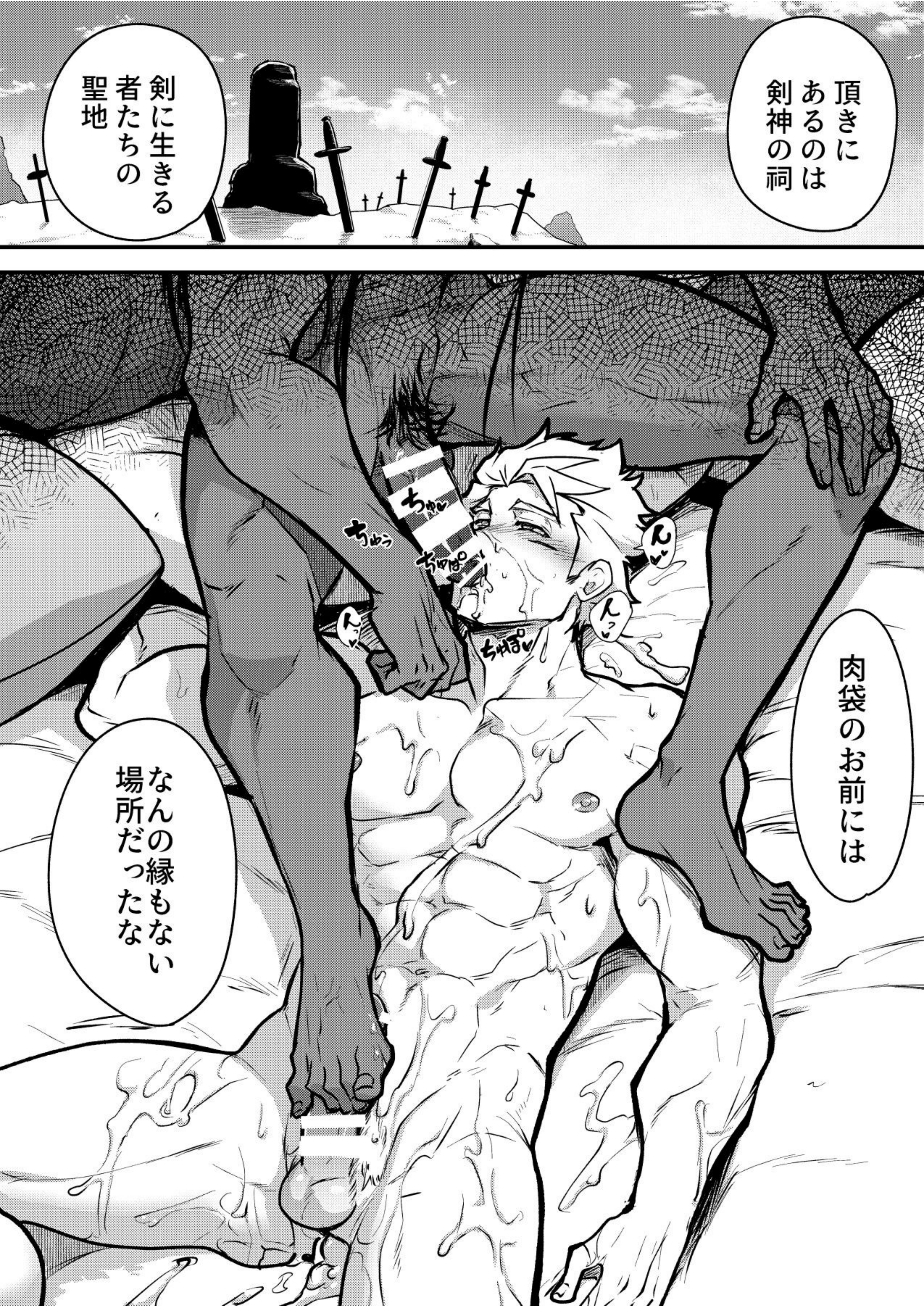

だが——
薬師夫婦の間に子が生まれた
宴の準備で皆忙しくなる
よって明日の肉袋の仕事は免除とする
久しぶりにゆっくりと休むがいい
俺は安堵した
久しぶりに誰に辱められることなくゆっくり眠れる
その間に運よく吹雪がやんでくれれば
この耐え難い生活からも解放される
それを心から願っていたのに……
やれやれ


せっかく休みを与えてやったというのに……
ちゅぷっ
ぢゅぷ
じゅぽっ
んぶっ♥
チおっンポっ♥ チンポっ
じゅぽっ
ぢゅぷっ
んっんっんふっ♥
んぷっ
ふっ
ふっ
んっおっ…頼むっ…！
ちゅぱっ
ちゅ♥
チンポっ
は，
チンポ挿入れてくれ…っ！
ケツが疼いてたまらないんだ
思いっきりイキたいのに
チンポしごいても指を入れても全然足りなくて……


おっ……
お願いします！
この肉袋の
ケツマンコを
犯してください♡
は
里中の男の
チンポ咥えまくって
ガバガバになった
この種壺に
思いっきり
種付けしてくださいっ♡
くぱぁ

おっ♡ チ・ポずぽっ♡ずぽっ♡
ドチュ
ぶぽ♡
ぐぽ♡ ぐぽっ
ぶぽっ
ぶぽっ♡
ドぢゅぶっ
すげぇ おっ♡
ドチュ
あっ あっ♡ あっ♡
バチュッ
んおっ おっ♡
バチュッ
バチュッ
きもちいぃ♡
バチュッ
ぐちゃ
ぐちゅ♡
ぐちゃ ぐちゃ
ぐちゃ ぐちゃ ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ♡
パンパンパンッ
ちゅくっ
ちゅぷ
ちゅっ
中出し♡ 中だしひてぃへっ♡
パンパンッ
あっあ゛っあ゛!


あ゛いっ
――傭兵
雪がやんだぞ
今日は絶好の登頂日和だ
…ああ
そうだったな


頂きに
あるのは
剣神の祠
剣に生きる
者たちの
聖地
ん
んっ
ちゅ
ちゅう
ちゅぽ
んっ
ちゅぽ
肉袋のお前には
なんの縁もない
場所だったな

剣神の祠

霊峰バムラッカの頂上に存在する十耀の神の一柱·剣神ガガルを祀る祠。祠を訪れた時にその資質を認められれば剣神ガガルによって祝福と共に秘された剣技を伝授されるとされている。

歴史に名を遺す剣聖や戦場で華々しい活躍とげた豪勇無双の剣士のうち少なくない者達がこの祠にて祝福を受けたとの証言を残しており、剣で生きる者たちにとってのまさしく聖地と言える場所である。

だが祠への道行は厳しく、険しい山道や激しく変化する気候、猛獣や妖物など数多の困難に阻まれ到達することは大変難しいとされる。

霊峰に住まう「黒鉄の民」はバムラッカでのみ産出する特殊な黒鉄を扱う高い鍛冶技術を持つ狩猟民族である。

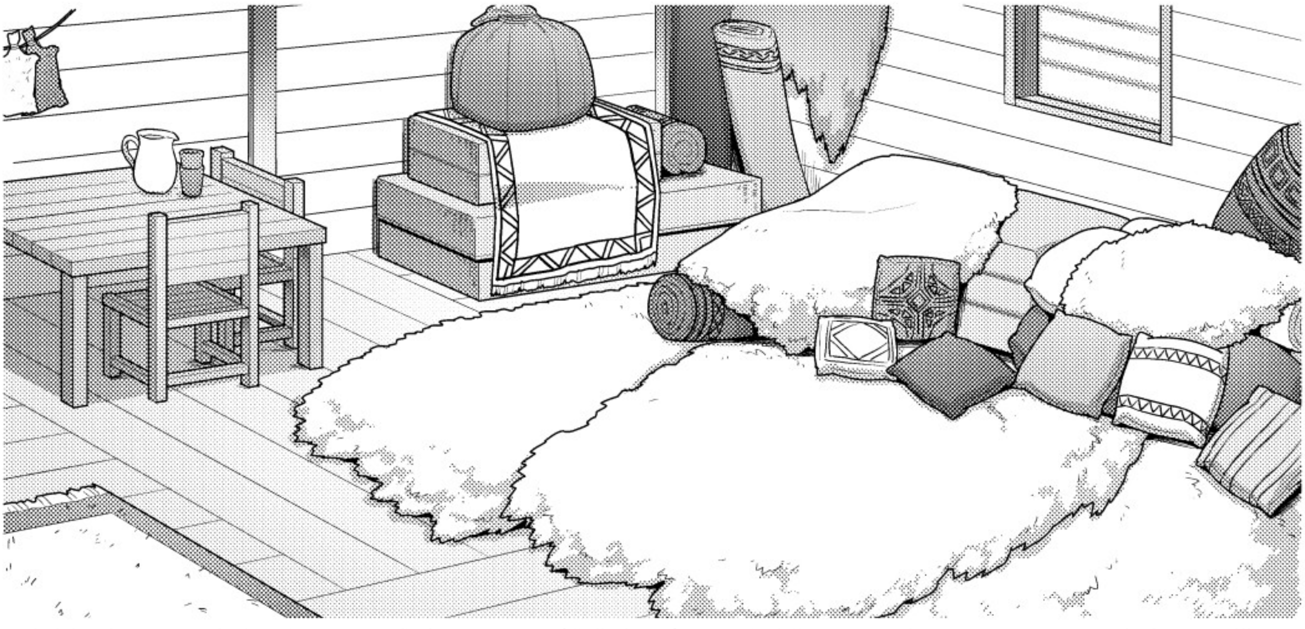
かれらは剣神の従僕で代々その祠を管理しており、時にその審判者として祠を目指す剣士を様々な形で試すのだという。

あとがき

こんにちはITKZです
久しぶりの性欲全振りモブレ陵辱チンポビンビンアへ顔フェスティバル本ですやったぜ！
ここしばらく同人ではずっとエロはあるけどエロ本とは決していえない番長★物語ばかり描いていたので「そろそろちゃんとエッチな同人誌もまた作りてえな」という気持ちが高まっていたので、念願かなってよかったです。

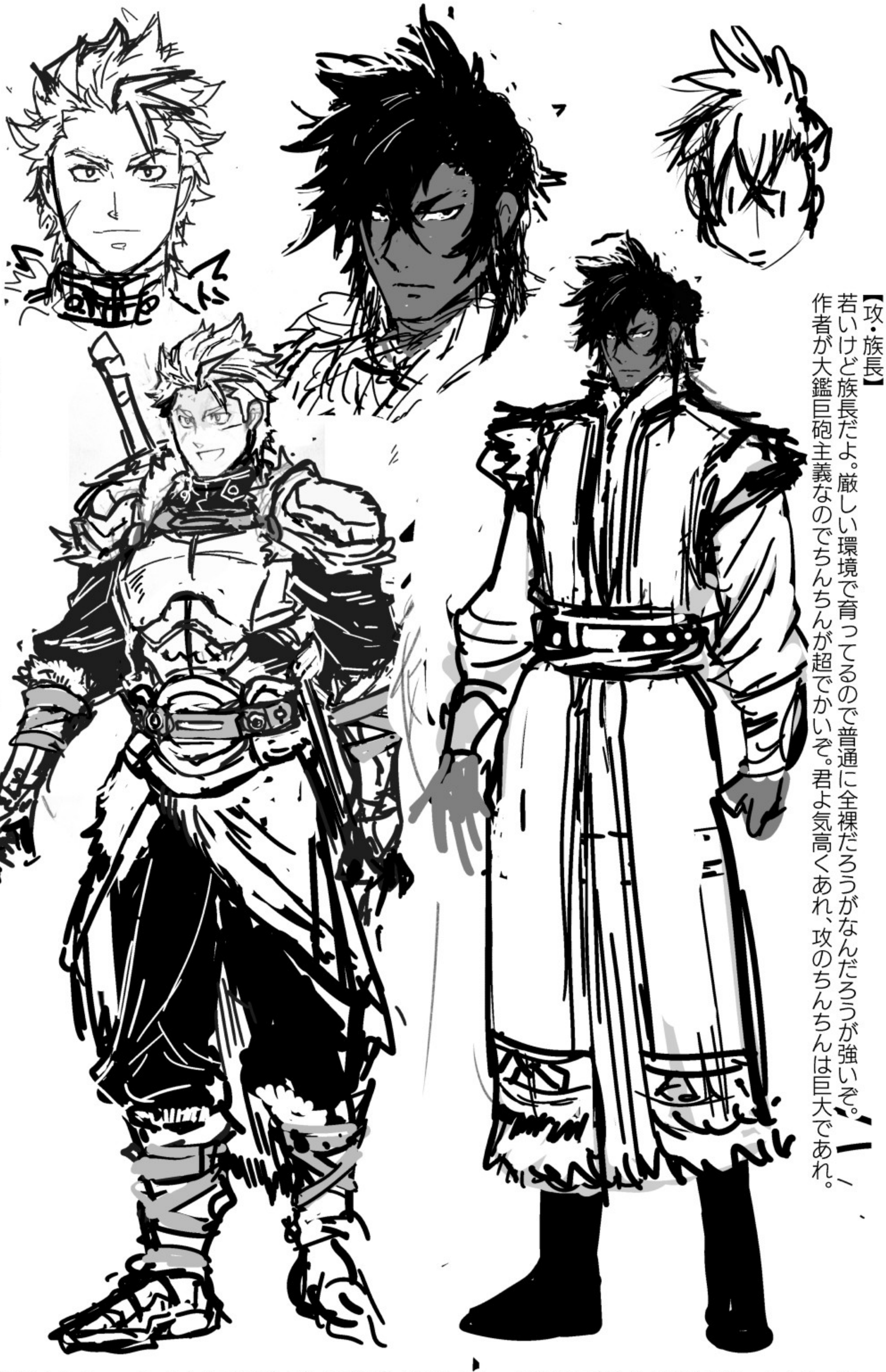
ただ５月の仕事がボーボーに燃えてしまい「表紙半日、ネーム１日、本文作画3日半」というどうかしてるスケジュールで本を出すことになってしまったので、シチュも絵も
「谷までもてばいい！！！印刷所締め切りに間に合えばいい！出ない神本より出るクソ本！」
って感じでほぼすべて手癖で描いたみたいな感じになっちゃったのがちょっと無念です
モブごとに体格変えたり、定点観測シチュは遠近感を生かした構図にしたり、一シーンごとのすけべをもう少し情念を入れて描いたりと、「時間さえあれば……」と作業中凝りたいたところが次々いっぱい出てきて……ｳｵｵｵﾝ
ただ今回実質5日で26Ｐ本文＋表紙を作成できるとわかったのは大きな収穫だったな～と思いました。（仕上げと背景は全部作画スタッフさんに丸投げなのですが）
漫画という作業、凝ろうと思えばいくらでも凝れるけどそんな中である程度切り捨ててまず形にする事で得られる満足感や急ぐことではじめて見えてくる課題というのはあるので諸々次に生かしてまたモブレ凌辱本出したいですね！

「もっと漫画の内容の話しろよ！！」ってかんじなんですけど本当にチンポビンビンアへ顔フェスティバル本を野郎フェスで新刊として出すということしか考えてない作品なので語るべきことがあんまりなくて……
アレです、スカ●リムでオークの集落に迷い込んだプレイヤーがモブレされるみたいなのやりてえな～～と思って描きました。（ほんとに性欲しかないやんけ）
ただオーク（オーガ）はこの間敗北英雄でさんざやったので好みのイケメンwith山の部族になりました。
一生懸命頑張って好きなシチュを描けて大変楽しかったので、購入して読んだいただいたあなたにも楽しんでもらえていたらとてもうれしな～と思います。
それではまた次の本でお会いしましょう！



定点観測エロページ、実は縦３コマ構成だったのですが作業時間がなくて急遽縦２コマに変更してしまったので相楽さんに描いてもらってヤリ部屋の一部を拡大して使用しました。せっかくしっかり描いてもらったのに全体掲載できなかったのがもったいなさすぎるのでここに掲載しておきます。
作画スタッフの皆さんには今回も無理なお願いをいっぱいきいていただきました、本当にありがとうございました！

キャラデザ



【攻・族長】
若いけど族長だよ。厳しい環境で育ってるので普通に全裸だろうがなんだろうが強いぞ。
作者が大鑑巨砲主義なのでちんちんが超でかいぞ。君よ気高くあれ、攻のちんちんは巨大であれ。

【受・傭兵】
別に弱いわけじゃないけどかといってめちゃ強いというわけでもないので
慣れない場所で全裸で集団に囲まれたら普通に無力だぞ。

限界スケジュール、どうせすぐ脱ぐなどの理由で30分でキャラデザを済ませる羽目になってしまった…
結果ふたりも完全にいつもの手癖の男になってしまいました。
でも好きなものは何回かいてもいいのでこれはこれでまあいいんじゃないかな(前向き)

黒鉄の宿
性奴隷へと堕つ剣士

2023年5月27日発行

［発行］　ITKZ / 性威大将軍
［連絡先］　itoudesuyo2@gmail.com
［Twitter］　itoudesuyo_v
［pixiv］　31760
［印刷］　株式会社サングループ

１８歳未満の方の閲覧・購入を禁止します。
無断転写・複写・転用・転載・web上へのアップロードを禁止します。
この作品はフィクションであり実在の個人・団体などとは一切関係がありません

黒鉄の宿

性奴隷へと堕つ剣士

2023年　5月27日
性威大将軍
ITKZ